

乗るひとキュート。
Cute:^{キュート} **新発売**

ライトスポーツ **SRX250** **新登場**

新発売 **CYGNUS 125** シグナス **TY250** スコティッシュ



2:新発売

ジョグ&チャンプを柱に、'84年もスクーター市場をリードするヤマハから、ニュースクーターの第2弾・キュートの新登場です。

キュートは、今日のスクーター時代を切り拓いたベストセラー、パッソルの後継モデル。全スクーター需要の40%以上を占める女性層をターゲットに、より本格的な商

品性とより強力な「買得感」を追求した、新時代のソフトスクーター。

ソフトスクーターでトップクラスの発達

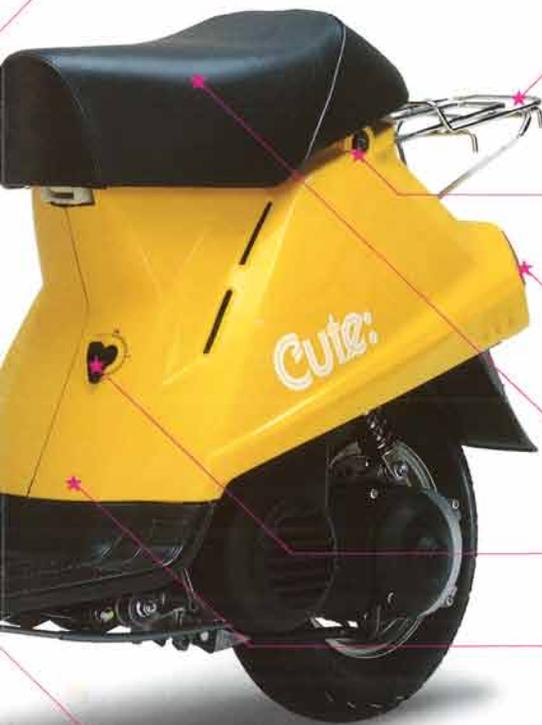
加速と登坂力。ミドルスクーターに迫る充実した機能、装備。軽快ではつらつとしたスタイリング、カラーリング——キュートは、スクーター商戦の新しい主力商品です。



電気式フューエルメーター、走行距離計装備の見やすい大型メーターパネル

ミドルクラスの風格、大型で豪華なフロントパネル&ハンドルまわり

カスタム仕様は、ソフトスクーター初の大型キー付フロントトランクを標準装備



使いやすい大型キャリア

安全、安心。使い勝手のよいシートロック&ヘルメットホルダー

被視認性の高いビルトイン、大型テール&フラッシャーランプ

快適な乗り心地の大型シート

安心の「予備」付フューエルコック

快適、経済的な新設計の軽量エンジン

●4PS/6500rpmの5ポートトルクインダクションエンジン+Vベルトオートマチック ●自己放電の少ないカルシウムバッテリー ●快適な乗り心地を生み出すリンク式エンジン懸架 ●80km/ℓの経済的な低燃費

足元ゆったり。ゆとりの居住性をつくり出す広びろフットスペース



●商品ガイドをご活用ください●

ここに紹介したキュート、シグナス125、SRX250、TY250スコティッシュの各新商品につきましては、各モデル別に開発背景、商品概要、関連部品、拡販の手引き、安全普及の手引き、サービスガイド等を1冊にまとめた「商品ガイド」ブックも用意しております。どうぞご活用ください。

ふだんがキラキラ

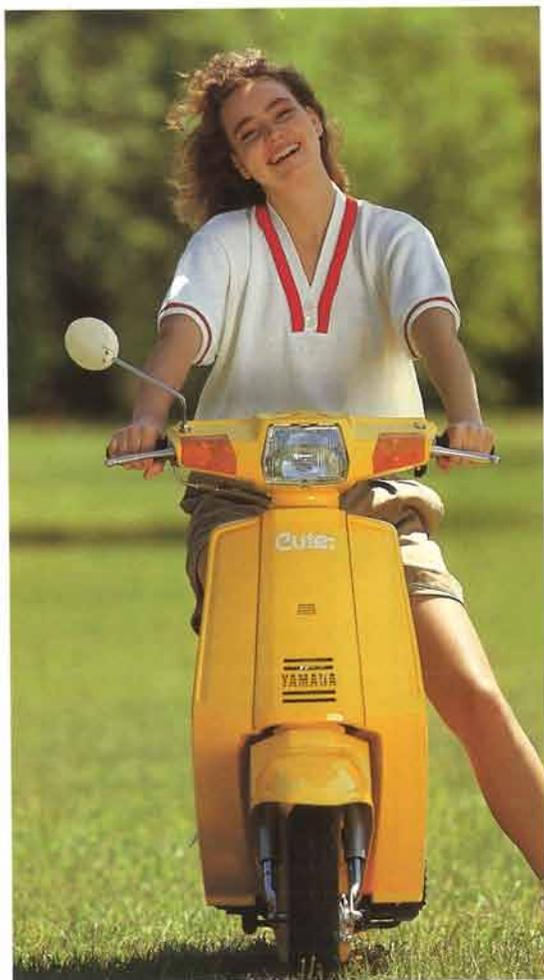
乗るひと、キュート。

Cute

キュートはデラックスとカスタムの2タイプ

カスタム仕様は、このクラス初のキー付フロントランクを標準装備。カラーリングも高級感に富む2カラーです。

デラックス仕様(CN50D)	●標準現金価格：¥79,800(北海道、沖縄は¥82,800)
カスタム仕様(CN50C)	●標準現金価格：¥89,800(北海道、沖縄は¥92,800)



ワンタッチ始動のセルスターター

●キュートは、デラックスもカスタムもセル付。始動システムを大幅に性能アップしてキック機構を廃除しました。

軽量39kg (デラックス仕様)

タイヤを外すだけで交換可能。整備性にすぐれた大型フェンダー

安定した走りの3.00-8インチタイヤ (前後とも)



■キュートの主な仕様諸元

●全長1505mm ●全幅620mm ●全高960mm ●シート高690mm ●軸間距離1075mm ●最低地上高100mm ●乾燥重量39kg (デラックス) ●舗装平坦路燃費80km/ℓ (30km/h) ●最高出力4.0PS/6500rpm ●最大トルク0.52kg-m/4500rpm ●燃料タンク容量2.8ℓ

デラックス仕様



●ニューホワイト

●ヒートレッド

●スイートブルー

●ソフィアイエロー

キュート & チャンプの テレビCFが 夏のスクーター商戦を もりあげます。

5月から放映中のチャンプにひきついで6月からはキュートのテレビCFもスタートします。
チャンプ&キュート、ヤマハスクーターの新しいふたつの個性が、6月のお茶の間にさわやかな話題を提供します。

生まれつきサムライ。 YAMAHA CHAMP

アッティラ・フォン・ソモギのハードなイメージが、チャンプのシャープな走りにぴったりと好評のチャンプCF。犬篇が、6月もひきつづきオン・エアされます。

きみの心にさわりたい。 YAMAHA CUTE

キャラクター、タラのさわやかな笑顔にのせて「いきいきエレガンス。ヤマハ・キュートを印象づける草原篇。60秒、30秒、15秒の3タイプが放映されます。

きみの心 やわらかい。 YAMAHA CUTE

光と風、笑顔、そしてキュートの走りが、なんともさわやかな庭篇。30秒と15秒の2種。



笑顔がさわやかなキュートのキャラクターはタラ・フィッツパトリック。いきいきエレガンス——キュートの個性にぴったりのアメリカで大活躍中のトップ・モデルです。

AMERICAN MORNING

草原篇、庭篇ともキュートCFのバックに流れるさわやかなメロディは、「アメリカン・モーニング。(ランディ・バーウォーマー)」。79年6月、全米ヒットチャート4位にランクされたなつかしい曲です。ヤマハ・キュートイメージソングとしてこの曲のシングル盤がCBSソニーから発売されることになっています。

テレビCFの舞台は、ニューオリンズのプランテーションハウス。「風とともに去りぬ」を思わせる風景の中で、快調に行なわれました。



キュート
店飾ツール

明るく、にぎやかな店頭から "キュート新発売"をアピール!

キラキラと新しい個性が光るヤマハ・キュート。さあ、店頭も明るく、にぎやかに演出して、「キュート新発売」をアピールしましょう。



●キュートプライスビラ



●チャンプ&キュート・ウインドステッカー



●キュート新発売告知ポスタービラ



●キュートハンドルポップ



●キュート新発売のほり



●キャラクター等身大カットアウト

2輪セダン感覚。

CYGNUS 125 新発売

45 W/45W、国産スクーター最大容量のハロゲン・ヘッドランプ。ビルトイン・フラッシャーは、車幅灯兼用。

ハ ンドルロック
一体式のメインスイッチ

航 続距離を伸ばす7ℓ大容量タンクと70km/ℓ(50km/h)の低燃費

バ ッテリーにつねに最適充電/レクチファイヤーレギュレーター

便 利なキー付フロントランクを標準装備

ブ レーキング時フロントの浮き上がりを防ぐアンチリフト機構付ボトムリンク・サス

高 速走行にも安定したワイド・チューブレスタイヤ

軽 い踏力で確実に制動力を伝えるリヤ・フットブレーキ

ボ ディ側面にステップバーを突出させず、自由度と安全性を高めたタンデム・フットスペース



125cc、4サイクルエンジンとガスクッションの風格ある走り、そして群を抜くタンデム機能——ビッグスクーターのニューエース、シグナス125は、ナイスミドルのための新しいシティ・トランスポーターです。

安 心の
グラブバー

リ ヤ・ボックスの取付けも可能な大型リヤキャリアを標準装備

快 適ダブルシート

被 視認性の高い、大型ビルトイン・テールランプ

す くれた操縦安定性と快適な乗り心地を生み出すダブル・ガスクッション

3 ステップ・ポジションがとれる広びろフットボード

11 馬力のハイパワー、粘りつよいトルクを生み出す強制空冷、OHCエンジンとVベルト無段変速のイーゼードライブ。一軸バランスで振動低減。セル+オートチョークで始動一発。前後いずれかのブレーキを作動させないとセルが回転しない、始動安全装置付

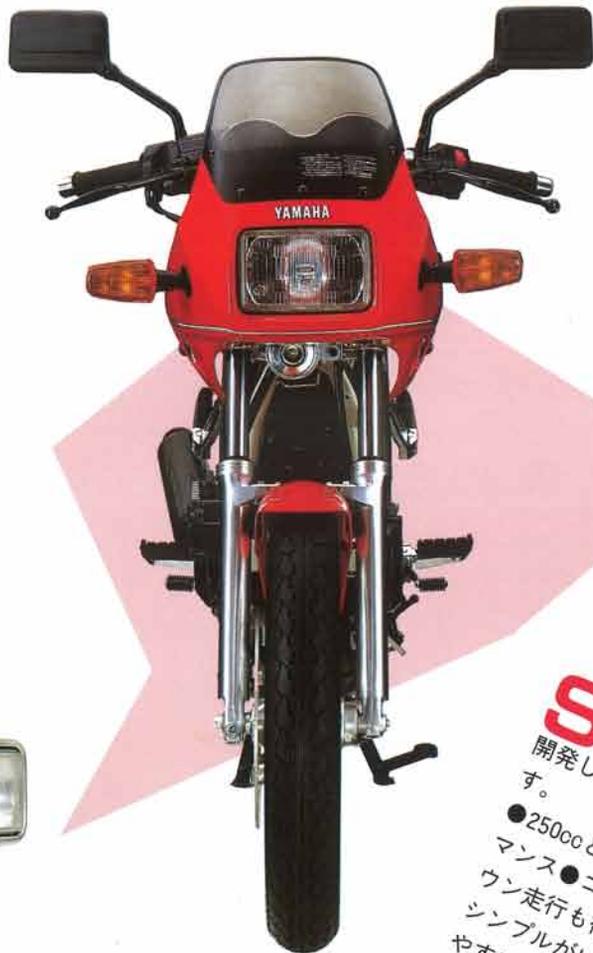


●全長1880mm ●全幅650mm ●全高1095mm ●シート高760mm ●軸間距離1250mm ●最低地上高110mm ●乾燥重量91kg

フの提案



協力=L'ALU



協力=ドゥ・スポーツクラブ/ラケットボールクラブ



SRX250

S R X 250は、まさにそんなフイ
ーリングライダーにあわせて
開発したニューコンセプトバイクで
す。
●250ccとして必要、十分なパフォー
マンス●コーナリングが楽しい、タ
ウン走行も得意●メカもスタイルも
シンプルがいい●扱いやすい、乗り
やすいマシン●気軽に乗りたい●カ
ジュアルなウェアでも乗りたい●フ
ァッションナブルに乘りたい●他にも
——フィーリングライダーのこん
な多彩なニーズを、「ライトスポーツ」
という言葉に集約。そのキーワード
に沿って徹底したつくり込みを行な
っています。✓



協力=L'ALU

SRX250F



■SR×250(SR×250F)のおもな仕様諸元

- 全長1970mm ●全幅710mm ●全高1015mm(1090mm) ●シート高750mm ●軸間距離1340mm ●最低地上高145mm ●乾燥重量121kg(123kg) ●舗装平坦路燃費59km/ℓ(50km/h)
- 最小回転半径2.6m ●制動停止距離14m(50km/h) ●4サイクル・DOHC・4バルブ・YDIS・単気筒・249cc ●内径×行程73×59.6mm ●圧縮比10:1 ●最高出力32P S / 10000rpm ●最大トルク2.4kg-m / 8500rpm ●燃料タンク容量10ℓ ●点火方式フルトランジスタ ●バッテリー12V 12A H ●変速機リターン式6段変速 ●高張力鋼管ワイド・ダブルクレードルフレーム ●タイヤ(前)90/90-16 48S(後)100/90-18 56S ●ヘッドランプ12V 60W/55W(ハロゲン) ●テールランプ12V 5W ●ストップランプ12V 21W

ヤマハから、新しいバイクライ

ハイレベルな運動性能とファッショナブルなイタリアン・スポーツスタイルで、SRX250が新登場します。このSRX250は、新しいコンセプトのもとに開発したライトスポーツ。スポーツバイクの新ジャンル開拓にチャレンジするヤマハならではの新品です。

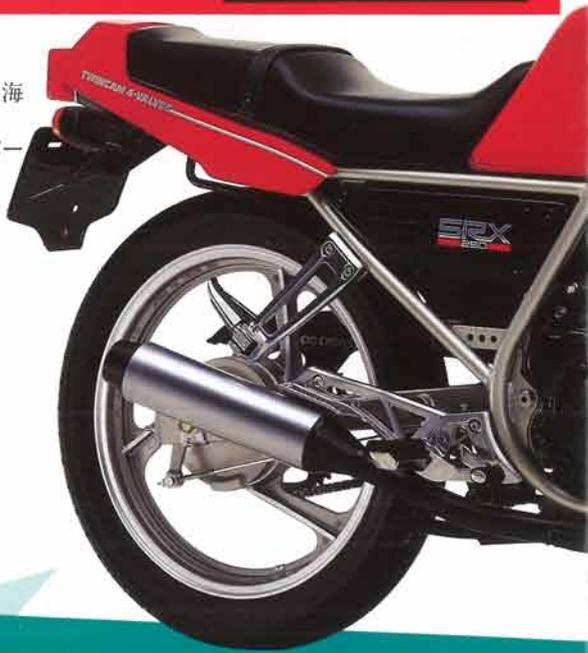
フリーリング・ライダーとでも呼べる人たち。音楽やスポーツなどと同次元の、数多い趣味のひとつとして、あるいはファッションの一部としてモーターサイクルを楽しむ人たちがいます。可処分所得のほとんどをモーターサイクルに投入できるマニアック・ライダーとは異なり、モーターサイクルに割ける費用も限られているのが、彼らの特徴。そして、そんな人たちこそ'85年以降のスポーツバイク市場のもうひとつの中心となると想定されています。

250 ccロードスポーツを中心に、スポーツバイクは、いまじつにバラエティに富んだ拡充がみせています。'80年RZ250の登場以来、主流となってきたのはパフォーマンス志向のマニアック・ライダー。パフォーマンスばかりでなく、ファッション性も含めたモーターサイクルのフリーな世界を、より幅広く楽しみたい、という人びとが、最近めざましい勢いで台頭をつづけていることも事実です。

ライトスポーツ SRX250 新登場

6月25日より

- 標準現金価格：SRX250 ¥379,000
SRX250F ¥395,000
(Fはハーフフェアリング標準装備。北海道、沖縄はいずれも¥6,000高)
- カラー：ストームレッド/クォーツシルバー



4 サイクル、DOHC、4バルブ、YDIS、単気筒エンジン ●クラス最軽量の121kg ●クラス最小1340mmのショートホイールベース ●スクーターなみ 750mmの超低シート高 ●スリムな車体構成 ●トルキーなパワーフリーリング、そしてなによりも ●モダンなイタリアン・ライトスポーツ・スタイリング……など、SRX250はパフォーマンスはもちろん乗りやすさ、ファッション性でもフリーリングライダーのニーズを100%実現。真のテイスティバイクとして、新しいスポーツバイクの世界を切り拓いて行きます。どうぞよろしく!





TY250Rのストリートモデル

TY250 新発売

●標準現金価格：¥398,000(北海道、沖縄は¥404,000)
●カラー：ホワイト

スコティッシュ

「TY250Rのストリートモデルを！」そんなトライアル・ファンの熱い期待にこたえて「TY250スコティッシュ」が、いよいよ6月10日より新発売となります。

競技専用モデルTY250Rの戦闘力を少しも損うことなく、公道走行を可能とした「TY250スコティッシュ」。まさに、トランスポーターを不要にした新しいトライアル・マシンの登場です。

30 W/30Wの明るいハロゲンヘッドランプ

クラス最大36φのフロントフォーク●アルミスタビライザー装備

ブレーキトラブルを解消したカムレバー内蔵式フロントブレーキ●ライニング摩擦インジケーター付

65°(左右)とワイドなハンドル切れ角。ハンドリングもきわめてニュートラル●ブッシュ等の引っかかりを防止するサイドブル・スロットル●ステアリング・ヘッド上下にはテーパーローラーベアリングをセット。

5ℓ容量の、フェイタルタンク(スチール製)

ワンタッチ脱着式で整備性にすぐれたシート

すくれた路面追いつけ性とクッション性能を發揮するリンク式モノクロス・サスペンション(プリロード6段調整式)●高張力鋼板角型テーパーリアアーム●ピボット部にはニードルローラーベアリング採用

フレキシブルマウントのテールランプ

ヤマハと井上ゴム共同開発のグリップ性にすぐれた、コンペティション兼用タイヤ●軽量ゴールド・アルミリムでバネ下重量を軽減●インナーとアウトターを連続させゆるみにくく増締めも容易なZスポーク・ホイール



ブレーキペダルは、公道、セクションそれぞれの走行にあわせてペダル高調整式

330mm、トライアル・マシンに欠かせない大きなロードクリアランス

TY250Rで定評のすぐれたトライアル性能を發揮する2サイクル・ピストンリードバルブエンジン●回転数対応型オートルーフ●低速型CDI点火●アルミキャブレター●アルミ・エンジンガード●1-4速クロス6速ミッション

90kgの軽量ボディとスリムな車体構成●フレームは高張力鋼管ダイヤモンド型

耐久性にすぐれた520ドライブチェーン

便利なディパックも標準装備

夏のスポーツバイク商戦に、ご活用ください

55mph Vol.4 完成

- スポーツバイク・ファンにはもうすっかりおなじみのヤマハからのスペシャル・ブック『55mph』の第4号が完成しました。
- 陽気なイタリアンのバイクライフを通じてモーターサイクルの楽しさやスポーツ性をアピールするイタリア特集を中心に、片岡義男の小説、エッセイ「ストーリー・オブ・キング、ケニー・ロバーツ」、ルポルタージュ「ザ・レーシング・ライフ」、ユートピア・イン・ジャパン「神戸・六甲」……など今回も豊富な内容を盛り込んでいます。
- スポーツバイク展示試乗会、夏のスポーツバイクセール、お店の夏のスポーツ活動など夏のスポーツバイク商戦のプレミアムとして、この『55mph』をどうぞフルにご活用ください。



■TY250スコティッシュ仕様諸元

- 全長2070mm ●全幅805mm ●全高1100mm ●シート高785mm ●軸間距離1325mm ●最低地上高330mm ●乾燥重量90kg ●舗装平坦路燃費45kg/ℓ(50km/h) ●最小回転半径1.5m ●制動停止距離14m(50km/h) ●2サイクル・トルクインダクション・単気筒・246cc ●内径×行程68×68mm ●圧縮比7.6 ●最高出力14PS/4500rpm ●最大トルク2.3kg-m/2500rpm ●始動方式キック式 ●オイルタンク容量0.4ℓ ●エレメント湿式ウレタンフォーム ●燃料タンク容量5ℓ ●点火方式CDI ●点火プラグB8ES(NGK) ●バッテリー容量6V2Ah ●1次減速(比)ギヤ(3.550) ●2次減速(比)チェーン(3.000) ●変速機リターン式6段 ●変速比①3.000②2.467③1.938④1.409⑤0.963⑥0.677 ●フレーム高張力鋼管ダイヤモンド型 ●キャスト23" ●トレール50mm ●タイヤ(前)2.75-21-4PR(後)4.00-18-4PR ●ブレーキ機械式ドラム ●懸架緩衝装置(前)テレスコピック(後)リンク式モノクロスサスペンション ●ホイールラベル(前)180mm(後)160mm ●ハンドル切れ角65°(左右) ●ヘッドランプ6V30W30W(ハロゲン) ●テールランプ6V5.3W ●ストップランプ6V17W ●フラッシュャーランプ6V8W

売ってます、 売れてます。 ニューヤマハ



ニューモデルもぞくぞく登場して、いよいよ夏商戦に突入です。

今年もまた、お店とヤマハが一体となって、話題いっぱいのニューモデルにあわせた、にぎやかなセールス活動が、全国でくりひろげられています。

この夏の、あなたのお店のセールスプランは決まりましたか？ 各地の販売店さんの意欲あふれる好企画、どうぞご参考に——

女性市場の再構築へ、はりきるヤマハ奥さま。キュート拡販は、私たちの手で！

■川勝モーターズ(川勝銃造社長)・京都市左京区

スクーター市場の新しい主力商品をめざして新登場したヤマハ・キュート。それだけに全国の店頭では、「私たちの手で、女性スクーター市場の再開拓を！」という、ヤマハ奥さまの元気いっばいの姿が目立っています。

「ジョグの妹・キュートです」と、まず名前からアピール

京都市の北・左京区岩倉花園町でご商売する川勝モーターズ(川勝銃造社長)さんの奥さま淑子さんも、そんなお1人。キュートの新発売研修会として開かれた、京滋地区ヤマハ奥さまセミナー[®]に出席して以来、この夏商戦でのキュート拡販プランをつぎつぎと企画中です。

「主人はサービス担当、商売の方はほとんど私が受け持っていますので、キュートについてもいろいろと考えています。

キュートの第1印象は、かわいいスクーターだな、ということ。シャープなかんじのパツソルIIなどはちがつて、とつてもエレガントですよ。いままでのパツソル以上に、幅広いお客さまを捕えられそう。セル付で7万9千円という価格、この車格でパツソルIIよりも安いのですからね。うちのターゲットは、女性の中でも大学に通うヤングギャルからOL、そしてヤングミセスと考えています。

女性ユーザーの特徴は、価格もそうですけ

ど車格が決定的な要素になること。同じ値段なら大きな方、豪華な方を選びますよね。その意味でもキュートは売りやすそう。

ジョグやチャンプはヤング男性や活発なギャルにお似合い。キュートは、ちよつとエレガントで落ち着いた女性にピッタリ。お客さまへのセールストークは「ジョグの妹・キュートです」とジョグ人気を使って、キュートの名前を売り込んでいきたいと思っています」

顧客名簿の人数不足は
投げ込みチラシとDM作戦でカバー

成熟期を迎えたスクーター市場。ご商売に占める代替のウエイトも相当に高まっていますが、昨年4月のオープンという川勝モーターズさんでは、顧客数が少ないことが、ハンディキャップとなっています。

「そこで、うちでは以前から独自に月1回1000部のチラシの投げ込みを実施。また安全点検、初回点検、愛車ハッピーバースデーと銘打ったDM作戦をつづけています。

当然、6月からはこれらのすべてに、キュート新発売[®]をプラスして、来店を促進させ

ていきます。

そして店では、キュートコーナーをつくらせて商品をアピール。キュートの自作ポスター

をつくらうと思っています。私なりに考えたセールスポイントをもり込んで……ね」と、意欲的です。



キュート
Cute:
発売
YAMAHA



担当の間宮セールスとキュート新発売の秘策を練る川勝淑子さん

奥さまの手で、キュート拡販!

第1回 京滋地区ヤマハ奥さまセミナー開催



熱心にメモを取る奥さまの姿もみられるキュート新発売キャンペーンのご紹介



↑これがヤマハ関西圏が展開する「乗せ替え作戦」のDMセット

→「エレガントなスタイル/」装備も豪華ね」ヤマハ奥さまにもひとときわ評価の高いキュート



安定期を迎えたスクーター市場の再活性化に大きな期待を集めるソフトスクーターのニューエース・キュート。それだけに販売店奥さまとヤマハがガッチリと手を結んで展開するこのキャンペーンの成果に、参加されたヤマハ奥さまの大きな期待が寄せられています。

★

定期的にこのキャンペーンは「乗せ替え作戦」と銘打った代替作戦。活動の手初めに、お店の顧客名簿を整理。これを各営業所に提出いただいて、営業所でDMを作成。このDMを再び、それぞれのお店にお返しし、お店独自のメッセージを書き加えていただき、発送は営業所が代行させていただきますという綿密なシステムです。

また、このDMの中には、二来店カード、ご予約カード、高価下取りカード、無料点検カードとともに紹介カードも同封され、ご紹介いただいたお客さまがキュート購入の際には、キュート特選エレガンスエプロン、をプレゼントすることになっています。

★

「キュート拡販はヤマハ奥さまの手で」を合言葉に、5月8日、ヤマハ関西圏京都支店管内の販売店さん86店の奥さまを京都国際ホテルに集めて、第1回京滋地区ヤマハ奥さまセミナーが開かれました。

これは、期待の新商品キュートに対する商品理解を深め、同時にヤマハ関西圏が、この夏、キュート新発売に当たって展開するキャンペーンを紹介しようというものです。



キャンパス需要を中心に 試乗とロココミで一大旋風を!

■モトショップ・ユキ（大澤時春社長） 東京都渋谷区

ずば抜けた走りのよさで、発売ひと月足らずで、早くもヤングの話題をさらっているニュースクーター・チャンプ。そして、都内におけるチャンプ旋風の発生地となっているのが他ならぬキャンパス。この夏は、特に大学生需要に焦点をあわせたチャンプのセールス活動が大きな成果をあげそうです。

「ジヨグ屋」の実績を、 今度はチャンプの拡販に

こうした傾向を、いち早くキャッチしてさまざまな拡販プランを企画されているのは、ヤングの街、東京・原宿でご商売するモトショップ・ユキ（大澤時春社長）さんです。スクーターからビッグバイクまですべてを扱うユキさんは、お客さまから「ジヨグ屋さん」と呼ばれるほど、ジヨグの販売に力を入れてきたお店。この4月だけでなんと30台ものジヨグを売ったといえます。

それもお客さまの中心は圧倒的に大学生。そして土地柄ファッション関係の人たち。なにはともあれ、大澤社長にジヨグ大ヒットのヒミツをうかがってみました。

「なんととっても走りの良さだね。店頭で1台試乗車をおいて、来る人、来る人に乗ってもらった。ほとんどの人がジヨグから降りるなり、「これください」ですよ。良く走る、小まわりがきく、都心の足としては最高。スタイルもいいしね。セカンドバイクとして使っているスポーツユーザーやドライバーも多いです」

学生需要は広告より、ロココミ!

さて、ジヨグ好調の後を受けてチャンプの

拡販策については――

「ジヨグのインパクトがあまりにも強烈だし、依然大人気なのでかえってチャンプが売りにくい……笑。そんなことはないけど、チャンプは同じ売り方ではダメ。ジヨグとはまた違った、素晴らしいスクーターなんだってことをアピールしていかなくては。もっと走るし、足もとなんかすこくゆつたりしていてもっと快適なんだとかね。」

それと問題はアピールの仕方。特に大学生などはロココミの効果が絶大だから、学生客の中にオビニオンリーダーとなるような人を置いて、輪を広げていきたいね」

このため、モトショップ・ユキさんでは、この夏、チャンプ新発売サマーセールを企画中。チャンプのデモカーを用意し、同時に渋谷区内に約24万円の子算をかけて、5万枚のチラシを配布。来店を呼びかけ、試乗を徹底して今度は店頭からチャンプ旋風をまき起こそうというわけだ。

「チャンプの良さは、乗った感じに満足感があるんだよね。ジヨグとはひと味が違った。新発売のモデルは、どんな人でも他人が走っているのを見て、興味をそそられると思うから、なんととってもデモカーを走りまわらせて、目立たなくちゃ……」と意気込みも最高でした。



↑「チャンプは、確実に利益をもたらす魅力のスクーター」という大澤社長



←商圏内にキャンパスが多いわけではないのに、いつも学生ユーザーでにぎやかなモトショップ・ユキさん。これも原宿という土地柄と若々しいお店の雰囲気のおかげ

15日間で2000人の学生にチャンプ試乗を/と大ハッスルの明治学院大学広告研究会のみなさん

キャンパスからの話題づくりにも大反響!

いまキャンパスからわき上がるチャンプ旋風——これをさらにもりあげようと、ヤマハでは5月に、キャンパス内にチャンプを投入してさまざまな話題づくりを行なってきました。

チャンプの走りは、キャンパスでも話題!
『花の関東6大学広告研究会対抗
チャンプ・リレーモニターコンテスト』



コンテストに先立って6大学広告研究会リーダーを招いて説明会が開かれた



さすが広研、試乗車には「小結馬行」の楽しいのぼりも



そのひとつは、東京周辺の6つの大学で展開された『花の関東6大学広告研究会対抗・チャンプリレーモニターコンテスト』。

慶応大学、明治大学、立教大学、青山学院大学、明治学院大学、成城大学の6つの大学を舞台に、5月17日から約半月にわたってくりひろげられたこのリレーモニターは、各校の広告研究会が中心となってキャンパスやその周辺で工夫をこらしたチャンプ・モニター試乗会を開催。多乗り賞（試乗者の数）、遠乗り賞（試乗距離）おもしろ企画賞（試乗会アイデア）など、さまざまなかたちで試乗会の内容を競っていたということなのです。

関東・関西218校ではチャンプ・キャンパスボード広告も実施!

一方、このチャンプ・キャンパスモニターコンテストと時を同じくして、関東、関西の各大学では、学内のキャンパスボードに、チャンプポスターを掲示。テレビや雑誌などマス広告と連動した強力な話題づくりも行なわれています。

これが実施されたのは、東京86校、神奈川33校、千葉・埼玉41校、大阪32校、神戸・京都26校の計218校。国立大学、私立大学、女子大学、短期大学……など関東、関西圏のほとんどのキャンパスをカバーする大規模なものです。

こうして、夏休みをまじかに控えて、学生たちの行動もひとさわ活発なキャンパスでは、ニュースクーター・チャンプの話題がもりだくさん。

この成果は、まもなく、さまざまなかたちでみなさまの店頭へと波及していきます。夏のチャンプ拡販に、どうぞご活用ください!



キャンパスボードに登場したチャンプ・ポスター。ソモギの強烈な印象とチャンプの名前は、いま急ピッチで広がっている

6校のトップを切って、5月18日、第一回の試乗会を開いた明治学院大学を訪ねてみました。東京都港区白金台のキャンパスは、バイクや自動車の乗り入れが禁止されているため、試乗は学生の通学路となる国電目黒駅からキャンパスまでの路上を使い、登下校途中の学生たちに呼びかけて行なわれました。同校広告研究会のリーダー横井浩史さん（3年生）は、「うちの研究会には、約80名のメンバーがいますが、このコンテストの前に全員がキャンパスに試乗。どんなスクーターかを完全に理解したうえで、他の一般学生に試乗をすすめています。15日間の目標は、2000人!」

でも乗せると、みんな喜んでくれる。「こんなスクーターは初めて」という声も多いんですよ。加速が鋭いし、ダイナミックですから走りか。スタイルやカラーも好評で、「買いたい」という学生も多い。カラーバリエーションは、もっと多い方がいいのかな……。でも試乗した人は、みんな満足しているようですよ!

スポーツバイクの拡販は お客さまと一緒に遊びながら

■テクニカルオートショップ鷹（高木幸雄社長） 埼玉県与野市

「まさしくこれはトランスポーターのいらぬモトクロッサード」とか「フェアリングが付いて、パワーがちよっと上がっただけかと思つたらとんでもない間違い。完成度と実力は、さすがナンパーワン」……'84年ニューモデルのトップを切つて登場したDT200RとRZ250RRは、すでにお客さまの高い評価も定着。待望のニューヤマハを手にしたお客さまは、早くも西に東に活発に走りまわつて楽しまれています。

そう、最高のニューモデルを、最高のツーリング体験とともに提供する、これこそこの夏のスポーツバイク拡販のカギにちがいありません。

この夏も遊びの企画で、大いに拡販!

ここに紹介するテクニカルオートショップ鷹さんも、そうしたスポーツ活動を軸に、活発な商売を展開する販売店さんの典型です。

埼玉県与野市、新大宮バイパスから国鉄与野駅方面へ少し入った住宅地で商売する高木社長は、自らモトクロスの現役ライダーとしても活躍中。さる4月、福島県で開かれた市販車による「羽鳥耐久4時間モトクロス」でも、愛車DT200Rを駆つて、参加255台中6位というじつに立派な成績を収められています。

そして、お店では、オンロード、オフロー

ド、ロードレース、モトクロスそれぞれ4つのクラブがフル回転中。マスコットの小3の女の子から44歳のアダルトライダーまで総勢40名が、テクニカルオートショップ鷹さんのお店をベースに楽しんでいます。そんな高木社長にとつての、この夏のスポーツバイク拡販プランは、もちろんスポーツ活動——「お客さまと一緒に遊んで遊ぶ、お客さまにバイクの遊びを満喫していただく、この夏のプランもこれに尽きますね。

私自身、バイクに乗ることが大好き。だからそれが仕事、商売のひとつでもあるんです。が、あんまり「売るため」に「売ろう」なんて考えず、まずお客さんと一緒になつて「遊ぶ」ことを心がけているんです。



お店にも「遊びごころ」がいっぱい。これが若いお客さまを呼び集める(左端が高木社長)

特にDTやRZなどのスポーツバイク販売では、実際に乗る楽しみをお客さまと一緒に共有する、一緒になつて体験することが第一。

そうした中から自然と会話も生まれ、それが販売へ、新しい需要へと結びついていくんですね。

それでは、この夏、高木社長は実際にどんなプランをお持ちなのでしょう——

「5月にもDT200RやRZ250RRなどニューモデルのお客さまを交えてツーリングを行いました。といっても、うちで企画から実施までやったわけじゃなく、ヤマハが行なつた「バイクビレッジ・イン・箱根」に参加したわけです。

参加者は12名、RRなどオンロードのグル



林道を楽しんだ夜はビールで乾杯。(ヤマハ・バイクビレッジ・イン・箱根で)



スポーツユーザーの輪を広げる『ヤマハ・バイクビレッジ』

テクニカルオートショップ鷹さんのお話しにもあつた「ヤマハ・バイクビレッジ」は、販売店のみなさまに、シーズンに関係なく、より手軽に、より活発に、お客さまサービスとしてのツーリングを開催していただくために、リゾート地の宿泊施設をヤマハが確保したものです。

現在は、第一ステップとして箱根ビクタックガーデンのキャンピングコテージと西伊豆戸田の3カ所のペンションがこの「ヤマハ・バイクビレッジ」としてご利用いただけるようになります。

大盛況の第1回箱根&西伊豆

そうした中で5月12日、13日の両日には埼玉および千葉、さらに5月19日、20日の2日間には東京都のYSPメンバーズクラブの販売店さまが「ヤマハ・バイクビレッジ・イン・箱根」ツーリングを開催。また神奈川県東部のYSPメンバーズクラブ販売店のみなさまは19日、20日、「ヤマハ・バイクビレッジ・イン・西伊豆」ツーリングを行いました。

5月12、13日の箱根には約90台、19、20日に250台さらに同日の西伊豆にも多数のスポーツユーザーが詰めかけて大盛況。箱根の場合などは林道ツーリング、ワインディングロード走行さらには富士スピードウェイのサーキット走行なども盛り込みながら宿泊地となる「ヤマハ・バイクビレッジ」まで、各グループ趣向をこらしたツーリングを満喫。そして、ビレッジでは仲間同士のバーベキューパーティと、2日間を心ゆくまで楽しませていました。

お店とお客さま、お客さま同士、スポーツバイクの輪をひろげるこの「ヤマハ・バイクビレッジ」。お店でもどうぞご利用ください。



バーベキューを囲んで、話のはずむ参加者の皆さん。写真はバイクショップロックーズ（埼玉県狭山市）松浦次郎社長（左）さんの一行

↓第1弾の「バイクビレッジ・イン・箱根」には、千葉、埼玉の販売店さまを窓口約80台が参加



ープは箱根のワインディングロードの走りを楽しみ、DTなどオフの連中は富士の林道を走って夕方箱根のビレッジに集合。夜はみんなバーベキューを囲んでワイワイ遊びました。この2日間が、お客さまにも大変に好評なので、ぜひ夏休みにも、また独自のアイデアで実施したい。またサマーフェスティバルなどもありますから、それへの参加、応援などをうまく6、7月の商売の中へ織り込んだ打ち出しを考えています。いずれにしても基本はお客さまと「遊ぶ」こと。新規ナンバーの登録にますます忙しくなりそうです」

FZ400Rは人気、実力ナンバーワン ユーザー指導に力を入れて、大いに売ります



チームワークもバッチリと安全を考えたご商売を展開するバイクランドケイショウさんのスタッフのみなさん

■バイクランド・ケイショウ(佐竹庄社長)東京都福生市

発売前からこんなに話題を集めているモデルもあまり例がないのでは、と思われるほど目を追って人気を高めてきたFZ400R。

5月25日の新発売を目前に控えて、全国の販売店さんにはお客さまの問合わせが集中していましたが、そんな1店・バイクランドケイショウさんに話題のモデルの売り方のポイントをうかがってみました。

予想を大きく越えて広がりそうなFZユーザー

神奈川県横須賀市から千葉県富津市まで、東京をぐるりと回って走る国道16号線に面した東京・福生市の横田基地第2ゲート前でご商売するバイクランド・ケイショウさんは、スタッフ20名という大型店。

安全普及を中心にした幅広い活動でヤングからアタルト、女性さらに基地で働く米空軍の方がたなど、じつに多彩なお客さまを集めています。そんなケイショウさんでも、も

つか人気のマトはFZ400R。
さっそくご自身でも試乗されスポーツバイクへの造けいも深い佐竹社長に、FZ400Rの反響と、売り方をうかがってみました。

「スポーツバイクに対するお客さまの考え方が、今までのスポーツバイクからよりレシーなモデルへと向っている時期だけに、まさにブームの最先端をいっているモデルだと思いますね、FZ400Rは。」

サーキット志向の走りやスタイリングに、ファッショナブルでカラフルなデザインがブラスされて、乗る楽しさ、見る楽しさ、速さ」とすべて揃った文句なしのモデルだと思えます。売り手の理想としては、ある程度オートバ

イの乗車経験を持ったヤングに勧めたいところですが、実際にはあれだけのパワーとスタイリングを持ったバイクだけに、FZ400Rを見て久しぶりにバイクにでも乗ってみようか、といったカムバック組の方とか、乗りたくて免許を取った方とか、免許取りたてのヤングユーザーなど、かなりの数と幅が見込めると思えますね。店先での会話なんかを聞いていても、10代のヤングユーザーが相当の関心を示していますからね。」

YRSとのセット販売で「安全」を強調

「セールストークとしては、何しろパーフェクトなバイクですから『完成されたモデルなので長く乗っていても性能的な負い目は感じません』とか『サーキットをそのまま走れますよ』とかぐらいで十分じゃないでしょうか。走りの良さがそのままスタイルになっているのも一見すればわかりますよね。」

それだけに売り手としては、性能に見合ったライディングテクニックをお客さまに身につけていただきたい。また、あれだけのパワーがあれば、当然サーキットを思いきり走りたいという欲も出てくると思いますし、なんといっても安全に乗っていただく、という観点から、ライディングスクールとのセット販

2輪専門誌でも話題集中の FZ400R



発表と同時に2輪専門誌もこぞって、FZ400Rを特集。各誌それぞれの個性を生かしながら、FZ400Rの商品性を多角的に分析していますが、4サイクルのRZ、TT-III超特急などと評価も最高。その注目度の高さがわかっていきます。



体感試乗会でひろった FZ400Rセールストーク 10



- とにかく良く回るエンジンです。スムーズで確実に大きくブレーキも最高
- バイクショップステイブル(大阪府)／大森誠さん
- 乗りやすいの一言、思った通りのラインが取れます
- マクロス(神奈川県)／加藤裕子さん
- シート高が低くて乗りやすい。ポジションも最高ですよ
- 加藤輪業(静岡県)／加藤明男さん
- レーシーなスタイリング&ポジション。音も低

- 大きく良く伸びて、走っていて爽快です。中型で楽しむならこのオートバイがベスト
- ヤマハオートセンター(横浜松本店(浜松市)／奥泉守さん
- トルクがあって乗りやすく、ライディングポジションが最高です。RZV500Rにひけをとらない走りです
- A・Cシマダ(東京都)／尾崎道男さん
- フォーミュラIIIマシンに保安部品とナンバーをつけただけのような高性能車です
- 南マカベモーターズ(東京都)／真壁和信さん
- ルックスも操縦性も最高。トータルバランスに優れています
- BPハラ(東京都)／松浦竜也さん
- このバイクに改造は不用。ヘタな改造は、このハイパワーを殺します
- オートショップヤマダ(長野県)／平井正吉さん
- これ以上レーサーに近いスタイルのバイクなし、これを買えばすぐに買い替えずに済むよ
- プロショップ2&4(愛知県)／石田寛さん
- 16インチタイヤの操縦性の良さ、カウリングの効果、排気音の良さ、400ccに乗るなら、これっきゃない
- あわや商会(大阪府)／山下修司さん

体験的な安全活動の情報や交通事故の現状などが盛り込まれた「ニュースケイション」を定期的に発行し、地域全体への安全普及を図っています

売を考えています。
それも、初心者の方には一段ずつステップアップしながらテクニクを磨いていけるようなやり方がいいですね。例えばミニYRSからYRSへ、そしてサーキットランというように、段階を追っていきけるようなやり方です。モデルが完成されたものだけに、安全運転を考えたユーザー指導をキチッとやってくることが大切だと思います

と、「安全」とのセット販売に細やかな心くばりをみせる佐竹社長。お店独自の、4ない運動「つまり①ルール無視②暴走③改造④無免許運転」の4つを「し(四)ない」運動の呼びかけも一段と高まっています。

ブームに拍車! トライアルの輪を広げる自店コース

■三光モーターズ（佐藤隆三社長） 静岡県掛川市

ここ数年のオフロードブームの一端を担って人気上昇中のトライアル。昨年夏のTY250Rの登場はこのもり上がりに一層の拍車をかけたのですが、それをさらに飛躍させるものと大きな期待を集めているのが、6月下旬からのTY250RのストリートモデルTY250スコティッシュの発売。そして、こうしたトライアルの普及、トライアル車の拡販のために、販売店さんご自身で遊びのスペースも提供して「こう」というお店も増えていきます。ここに紹介する三光モーターズさんもそんな1店さんです。

自店コースは、楽しさ、普及のベース

三光モーターズさんのトライアル場はお店から約3km、車で10分という場所にあり、700坪のスペースの中には小川なども流れて初心者からベテランまで楽しめるセクション設定が可能な地形を持っています。

この自店トライアル場開設の狙いを佐藤社長は次のように語っています。

「ひとりでいってしまえば売ったあとのアフターフォローと店の宣伝スペースといったところですが、ゴンベティションモデルのTY250Rはもちろん、今度発売されるTY250スコティッシュにしても、かなり高い完成度を持ったマシン。それだけにお客さまにしてみれば「ちょっとその辺の川原で」というのじゃなくて、ちゃんとした場所での実力を試してみたいと思うのは当然ですよ。そんな場所を身近に提供してあげよう、と思ったのがこの自店コース開設のキッカケです。

このスペースで気軽にライディングを楽しんでもらい、トライアルの楽しさを理解してくれるお客さまが増えること。それが何よりも強力なトライアルの拡販策。Rにしろスコティッシュにしろ、トライアル車の拡販は、まず楽しさの普及からだと思えますのでね。

将来的には自店イベントの開催とか、会員制



自店コースでトライアル普及をめざす佐藤社長

にするとか、いろいろと案はありますが、今のところは、店にこたわってくれば誰でも使えます。まずはこんなスペースがあるということ、を、より多くのお客さまに知ってもらうことが大切だと思いますからね。当面はうちでマシンを買ってくれたお客さまに、無料で開放するつもりです。」

掛川市周辺には簡単なトライアル程度なら十分に楽しめる自然も豊富に残されていますが、本格的なトライアル場はここが初めて。それだけに4月22日のオープン記念には、この日を待ちわびていたトライアルファンが多数つめかけました。

31名のお客さまがエントリーして思いっきりトライアルを楽しんだ初心者トライアル大会、ヤマハライダー+加藤文博選手による模範走行に熱心に拍手を送るお客さまたち……オープニングイベントの大きな盛り上がりからも、三光モーターズさんの自店コースを拠点としたトライアルの普及とTY250スコティッシュの拡販は、大いに期待が持てそうです。



→トライアルの普及、TY250スコティッシュの拡販にも、このコースは大活躍しそう

↓加藤選手を囲んで専用コース開設を喜ぶ地元のトライアルファンのみなさん



信州トライアルクラブ

原サイクル/原林造社長（長野県上田市）

トライアルの奥深さを追求して、活動は地味でも息の長いクラブに

このクラブの発足は、第1次トライアルブームの真っ最中ともいえる昭和51年。19名のメンバーでスタートしました。その後、トライアルが下火になるにつれてメンバーも1人減り、2人減り。発足当初から運営を手伝っていた5名のメンバーで地道な活動をつづけてきました。

しかし、二、三年のトライアルブームで、会員も再び17名に増加。19才から32才までが一丸となって競技会やクラブミーティングに抜群のチームワークを発揮して活躍しています。トライアルならではのクラブ運営と活動について、会長でもあり、原サイクルさんの3代目でもある正造さんに、語っていただきました。

● 楽しさをわかってもらうことが第一

「トライアルという競技は、見るのと実際にやるのではまったく違います。見ていると簡単にクリアしていくように思いますが、実際にやってみると丸太一本でもなかなか越えられないものです。ですからカッコだけに憧れて入会してくる若い人は、ハデさが無いスポーツだけに、上手に走れないとすぐにやめてしまうんですね。」

ですから、初心者に対してはまずトライアルの面白さをわからせることから始めています。一度面白さがわかれば他のモータースポーツと違い、自分のペースさえ守っていれば40代になっても、50代になっても、それなりに楽しめる息の長いモータースポーツですからね。

そのために、発足時からいるクラブ員が一丸となって、基本をみっちり指導するんです。ある程度わかってくれば、それから先は自分から練習を積んでいますよ。」

● クラブ独自のシリーズ戦も開催

「活動としては毎週日曜日の練習とMFJの主催する関東選手権への参加などがありますが、クラブ独自にも信州トライアルシリーズ

というシリーズ戦を組んでいます。これにはちよつと変わった賞をもうけてあるんです。通称会長賞というんですが、ジュニアの私よりも良い成績でセクションを回ったクラブ員に、ガソリンを20リブレセントしているんです。うちのクラブはノービスが多いので、この賞によって少しでも発奮してもらい腕を上げてもらえば、と思っているんです。」

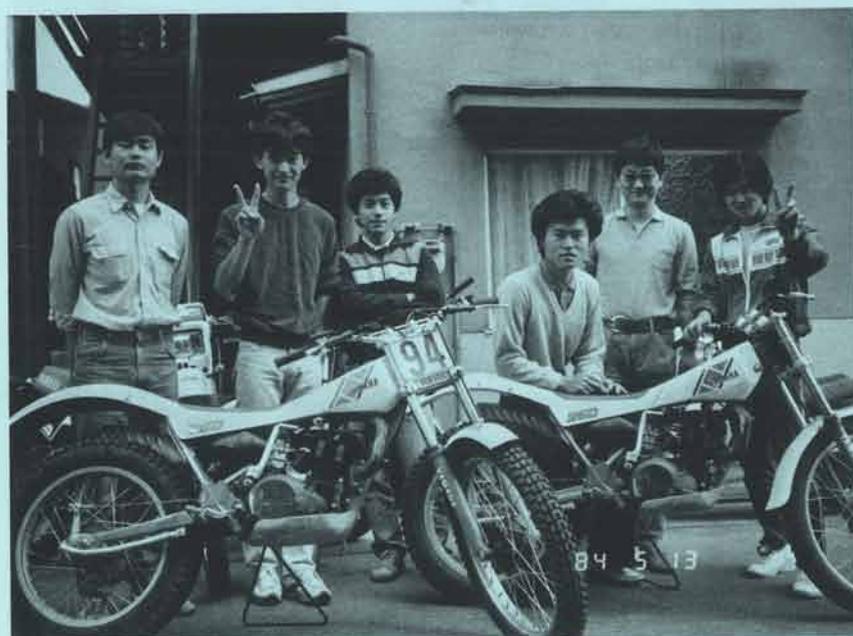
● クラブから

国際B級ライダーを、が夢!

「トライアルの上達方法は、練習を重ねることしかありません。ですからクラブ員には余暇を利用しての練習を勧めています。この時はもし事故が起きた時のことを考えて、必ず2人以上で行くように言っています。その他には、自分達の走りをビデオに撮って研究したり、加藤文博選手のビデオを見てテクニックの勉強をしたりしています。当面は国際B級の選手をクラブから出すことが目標ですが、クラブとして一番大切なことは走りよりも何よりも、長続きする人を育てることだと思っています。」



練習のあい間にちょっと一服、こんな息抜きもチームワークを育てるコツです。



SHINSHU TRIAL CLUB
STC



創業は大正4年という老舗「原サイクル」さん。左からサービススタッフの松田由雄さん、原林造社長、お店の3代目兼クラブ会長の正造さん。

84 5 13

こんにちは 奥さま ヤマハ



杉本ヨシ江さん
「そうね、うちのは口がうまいからね。滑めらかにどんどん言葉が出てくる。けっこう丁寧だしね。その調子で、この夏もがんばって欲しいね」
●モトフラスズギもと(婦負郡八尾町)・杉本茂社長



(社長さんが語るうちの女房)

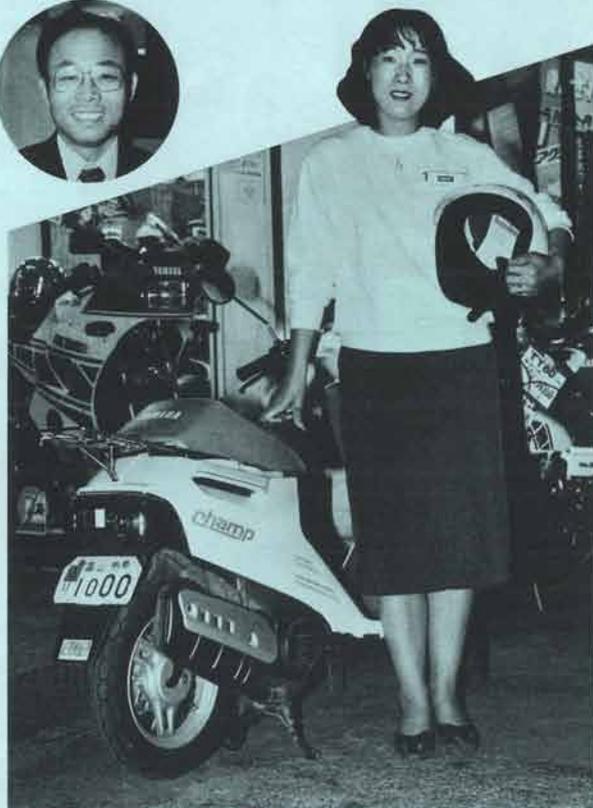
富山

越中・富山は、日本でも有数の「奥さまがよく働く県」。「キャリア・ウーマンなんてここでは昔から、みんなそうです」とばかりにヤマハ奥さまたちも夏商戦を目前に元気いっぱいです。

高橋欣子さん

「うちはクラブ員が多いでしょう。だからよくみんなでトライアル・ツーリングに出かけるんです。それが、商売にもうまく連動している。女房に欲しいのは、**ファッション** 感覚だね」

●高橋サイクルセンター(富山市千歳町)
・高橋清典専務



酒井恵子さん

「女房は、私の**分身** といってもいいほど。商談から修理サービスまで、なんでもOKなんですから。どんなお客さんにも自信を持って接しているよ」

●酒井オートショップ(富山市中野新町)・酒井宗一社長

松村恵子さん
 「男の接客じゃどうしてもギクシャクすることがあるでしょう。女房は、そんな時じつにうまく**合の手**を入れてくれる。助かるんですよ。この夏も2人でカンバります」
 ●松村自転車商会（滑川市河端町）・松村昭男社長



山田節子さん

「自分で乗るからセールストークも自然だし、説得力もあるんでしょうね。女房は、**用品**とセット販売に力を入れて欲しいね、この夏は」
 ●オートセンター山田（高岡市立野）・山田幸雄社長



本元紀美子さん

「外出が多い女房なんです。夏バテせずにがんばって欲しいですね。**訪問販売** なんか、得意なんです。社員寮などへゴマメに出かけては成約をとってくる」
 ●本元モーターズ（黒部市荒俣）・本元範一社長



伊藤祐子さん

「**おにぎり** ツーリングっていう名前の、女性だけのツーリングを、女房が中心となって企画しているんですよ。6人ぐらいのクルーズで、ジョクやチャンスで出かけるとか…。行動派なんです」
 ●サイクルショップ伊藤（婦負郡八尾町）・伊藤一夫社長



土生恵美子さん
 「代替中心でチャンスを売り込む、これがこの夏のうちの目標。女房は**セールスレディ**でがんばってもらわなくっちゃ。なんといっても大蔵大臣なんだから」
 ●土生サイクル（東砺波郡福光町）・土生征一郎社長



●太田克彦が人気マガジン編集長に聞く当世若者気質

Magazine & Magazine ⑥



「ブルータス」

〔創刊〕1980年8月5日。毎月2回、1日&15日発行。現在89号(5月15日発売)。

〔発行所〕株式会社マガジンハウス。

〔編集部構成〕男15名。外部スタッフ約25名

〔読者対象〕年代で区切るのには難しいが、あえて言うなら高校生から60歳までの男性が主体。25-6歳の、結婚前の一応自立しはじめた若いサラリーマンをピークに、ある同じ方向を向いた男性が主な読者層といえる。女性の購読も意外と多く、2割近くに達している。

〔編集方針〕「自分自身とともに、自分の周囲にいる人間の興味、生き方そのものの中にテーマを見つけている」(石川編集長談)との言葉どおり、編集者が読者代表という立場に立って、直感と個人的興味を大切に編集を行っている。

〔編集内容〕男の生活そのものをテーマに、特集主義を展開している。日本のワークホリックな男たちに、「もっといい生活をしようじゃないか」と呼びかけ、そのためのマニュアルを提供している。

〔編集長プロフィール〕1967年平凡出版(現マガジンハウス)入社、「平凡パンチ」の編集に従事。途中、平凡出版を一時離れて「スキークライフ」と「メイド・イン・USAカタログ」のムックを制作。1975年、再入社して「ポバイ」、「ブルータス」と立て続けに時代をリードする雑誌を創刊する。1941年7月5日生まれ、血液型はAB型。

●第6回ゲスト

BRUTUS®

編集長 石川次郎氏

「自分たちの世界から、ほんとうに楽しいと思うテーマを提案していく」

いまでもはっきりおぼえている。ぼくが音楽雑誌の編集をやっていたときに、「メイド・イン・USAカタログ」というムックが出版された。当時、ベトナム戦争の終わったばかりのアメリカで、若い人たちが新しい時代をつくらうという兆が見えはじめたころだった。

日本でもアメリカの健康な部分、たとえばアウトドア・スポーツなどへの関心が高まりつつあった。そんなときサツと差し出された感のあるガイド・ブックが「メイド・イン・USAカタログ」だった。当然のこと、編集

をした木滑良久氏と石川次郎氏のタッグ・エディターに対するぼくの興味は津々だった。その後、このムックからコンセプトをつくられた「ポバイ」が創刊され、3年後には「ブルータス」が誕生した。編集は、ずっと同じスタッフ・メンバーだった。

創刊まもなく度肝を抜かれた特集が、親父の時代。セピア調のトーンで統一された、はるか過去の楽しい日々、格調高い道具などを紹介したこの号を、ぼくはいまも大切にしている。

石川次郎編集長のこれまでの軌跡を見ると、日本にはすばらしい人間の財産が存在していると思わずにはいられない。

★

「ぼくなんか、もう古い世代のほうにはいるのでしようが、いまの時代、つくづく豊かになっていっていると思えますよ。戦争中の記憶がありますからね。」

「ぼくだってそうですよ。世代的には多分同じですから。」

「そんな雑志が成り立っているのだと思いますよ。とにかくこれまでは働け、働けで、国民がみんなワーク・ホリックになっていった」

「その反動なんですよ。これだけ働いたんだ。そうですよ、きつと。これだけ働いたんだ。自分たちだいたい生活する権利があるんだってね。もっともっと自分の生活をよくしたいということ、同じ方向をむいている男たちがたくさんいて、それが読者なんです。だからナマイキいうようですが、そういう人たちのお手伝いをしてるんです。この雑誌は、読者とメンタルな部分でつながっていきまから、なかなか年齢層で区切ることができない雑志なんです」

「同じ方向をむいている読者の興味は、どういうところから引き出してくるんですか?」「特別に頭をつかたりしないんです。自分たちで遊び人間になってしまえばいいんですから。つまりぼく自身が面白いと思ったことをやる。そういう意味では偏見に満ちてます。ぶつうはいまどんなものがはやってるかとか、世の中どっちの方向へいくのだろうといったことが前提にあつて、それなりのリサーチをして、ああでもない、こうでもないという討論を重ねますね。」

「ところが「ブルータス」では読者の動向のリサーチも、世の中のニュースも別の次元にあるんです。もちろんリサーチしないというわけではないんですが、それにとらわれて方針をくずしたりすることは、まずありません。それよりも個人の好みですとか、行動の中でつかんだものがそのままネタになります。釣りの好きな人は釣りの中からテーマを見つけられますし、オートバイに乗る人は、やはりその世界からネタをひろってきますよ」

「『ポバイ』も同じですか?」「『ポバイ』も同じです。『ポバイ』が発展して生まれた雑誌ですから」

「なぜブルータスをつくったんですか?」「いちばん大きな理由は、「ポバイ」を3年もつづけて、スタッフがみんな飽きてしまったんです。おまけに読者のほうも、おそらく飽きてきたと思うんですよ。」

3年もたつと、読者のほうも生活も欲もか



わかってきますからね。雑誌の読者はだまっていでも世代が変わっていくもんですが、離れていく読者をどうするか、ということをもとに考えたら、せっかくながら支持層の人たちが実際にあったりなくなってきた。それならその読者をいっぺんに吸収する雑誌をつくらうということになったんです。

— そうするとスタッフも『ポパイ』から『ブルータス』に？

「ほとんど移りました。そのかわり『ポパイ』

のスタッフは若返りました。

『ポパイ』は『通過雑誌』というふうにかけているんです。少年雑誌と同じですね。けれど『ブルータス』はつくってみて『ポパイ』の上の年齢層というよりも、独身男性の共通の意識でつくることを考えています。

— それでも世代って、やはり気になるんじゃないですか？ たとえば以前『ポパイ』がやっていたVANジャケ、ありがとうっていう企画、あれなんかぼくらの世代は共感しましたね。

「あれね、VANがつぶれたでしょ。でも、ぼくたちの世代はVANでオシャレをおぼえたんです。それまで人間が社会の歯車になつてしまつて、自分の主張を外に出せなかった。とくにオシャレに関しては、男がおもてに出すことは恥とされてきました。でも古い世代でも、そういう自己主張したいという欲求を、潜在的にはもっていたんです。それを堂々と人前で自分を表現していく方法を、ぼくたちはVANから具体的に教わりました。世代が重要というなら、ぼくはVAN以前、VAN以後というふうに分けてみます。VANを境にして、まったく意識がちがいますからね。」

「なるほど、それは非常に明解だ。

「それでぼくが木滑(良久氏)当時『ポパイ』の編集長に、VANにありがとう、という企画を組みたいといったら、彼は始め、やめようよ、恥かしいから」と言つたんです。でも、次の日に「次郎、あの企画やろう」とつてことになって……」

「いちど落とした企画をもういちど考えなおしてくれたんですね、いいコンビネーションだ。」

「『メイド・イン・USAカテゴリー』のころからずつといっしょにやってきましたからね、彼とは、だから何を考えているか、いわずとももうおたがいにわかるんです。木滑がイメージを話すと、ぼくが具体的に現実化するという方法をずつとつてきました。いつも2人だけの編集会議でした。」

— 特集主義の雑誌だからこそ有効な方法だったんですね？

「そうですね。企画のための企画会議をくり返すよりも、いろんなスタッフが自分たちの世界から、ほんとに楽しいと思うテーマを提案したほうが、はるかにすばらしい企画になるんです。」

「特集にたいする読者の反応はいいようです。とくに一冊まるごと式のもの、これまでたいていよかったですね。居住空間学なんてちょっと信じられない売行きを示しています。セックス特集も人気があったんですが、それよりも住むことのほうが読者の関心が高い。」

「実際のインテリアのページではないのによく売れる。きつと夢を求めているんですね、読者は」

「オートバイの特集も夢の部分なんです。すでに失われた名車のイメージなどが強い。

「編集スタッフの寺崎央が、どういうわけがある日、突然バイクに狂いはじめた。だからオートバイの特集は、すべて彼のイメージにシオンでまとめられています。そういうふうな編集にはスポーツなり趣味なりに誇大な夢を抱く人間がいて、それがいい企画につながっていく。ラグビーの特集もそうでした。」

「だれかラグビーの専門家がいて……」

「いえ、そうじゃない。ラグビーの経験者なんてほくらいで、しかも学生時代にやったのだから、はるかむかしの話です。なんとなく思いつきで『ラグビーやろう』といったら、あれだけの特集になって、結果的にラグビー・ブームの火ぶたを切った形になった。」

— あのあとラグビーの本、ずいぶん出ましたよね。

「なにかやるとすぐマネされる『ポパイ』などは、雑誌のサンプルをつくつたようなものです。最近はいミテーション・エディターが多くなって、ふつうの産業だとか欧米ではモラルとしてまったく考えられないことなのに……」

「『ポパイ』は独得な文体を生み出しましたね。」

「あれもひねり出したわけではないんです。学生アルバイトに『毎日つかつてる面白いことばを書いてみる』といったら、あんなったんです。けっきょくそれがコピーライターの時代をつくつたようなものでしょうか？」

「これからの『ブルータス』のオリジナリティに大いに期待したいと思えますが……」

「ぼくは雑誌は一種のスポーツ、またはゲームだと考えています。フィジカル、プラス、エモーション、そういうつくり方をしていきます。もはや上から下へ伝えていくやり方はダメで、雑誌にはダイナミズムが必要です。具体的にどうするかといいますが、余暇のつかい方と遊びの方法、つまり仕事を忘れて、土・日2日間のためのマニユアルをつくつていこうということですね。」

SENIOR UP CORNER

●お忙しい販売店さんのための情報アンテナ●

●話題と流行の最新情報●

●今月のセンスアップ

ユートピアは、近づくほど遠くなる

はるか彼方の地平線を目指して、ひたすらまっすぐ走る旅や古代からの歴史が生きつく街を通り抜けることもやってみたい私の夢です。身にまとうものはできるだけ少なく、さながら鳥のように自由に大地を駆けめぐりたいと思うのは誰でも同じことでしょう。

日常生活の中から一歩でも飛び出せば、いつもの自分とは違う世界が目の前に広がってきます。自分では常識だと思っていたことも、意外な使い方や気になしがあったりして、それは驚きの連続でもあります。遠く、はるか遠くの国々へ出掛けて行って

そんな驚きの体験を重ねてみるのもひとつの旅です。しかし、旅ということをおなりに考えてみますと、近くでも遠くでも距離に関係のないのが旅だと思ふのです。そして旅という行為は、もうひとつ飛躍させますと、ユートピアを求めることにほかならないと思うのです。

ところで、いくら近い旅でもいいとはいっても、都会の渋帯の中を走るなんて、誰でも楽しくありませんね。前後左右からのようにクルマが接近してくるか、かきもく見当がつかないのですから無理ありません。別にオートバイに乗らなくても、やはり澄んだ空気と美しい緑がグンセン魅力的です。そんな都会から逃れて、大自然のふところに飛び込みたいと思ふているでしょう。

でも、極端な自然愛好家でないかぎり、大自然だけが、真のユートピアにはなり得ないのではないかと思います。私が思うところでは、大自然と同じくらいに、心やさしき人々とのふれあいこそがユートピアだと思ふのです。ふれあい、ふれあいを軽く言っただけの言葉ですが、私たちがいつも求めていることは、ほんのちよつとした気持ちの通じ合ひではないかと思ふからです。それが人と人の間に生まれ出たユートピアだと思ふのです。ですからユートピアは遠くにあるものではなく、ちよつと振り向けばそこにある身近な存在なのです。

ところで、ユートピアは自分自身でも創造できるものとも言えます。ツイといえ、バイクとくるような連帯もあります。受動的にいつも受け身になって、待ち続けるのでは気

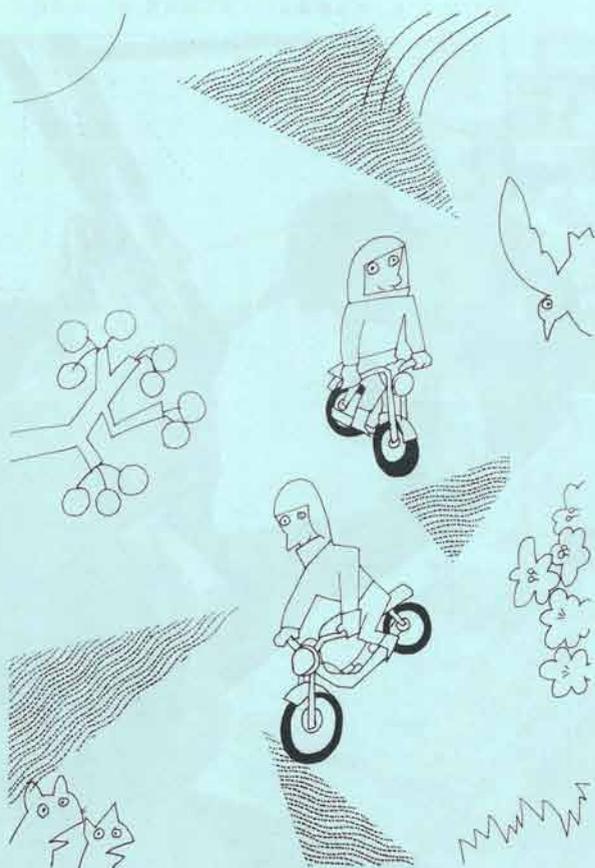
持ちの良いユートピアにはなかなか行けません。能動的に、うまい、気の効いた、タイミングの良い、そんなカケコトバが相手とのコミュニケーションをぐつと楽しいものにしてくれるでしょう。

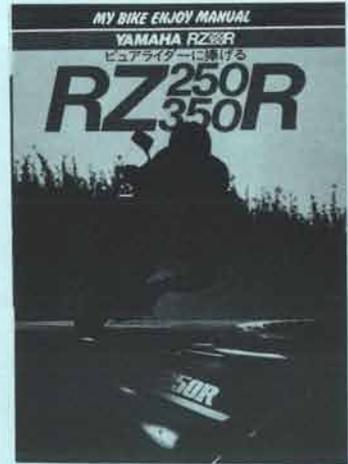
ユートピアは仲間で作ることもできます。本当に気が合う仲間と旅に出れば、旅という時間の経過はすべてユートピア。おまけに絶景なる景色がそこであれば気分最高です。それではどうして私たちはユートピアを求めるのでしょうか。

それはいつかはユートピアで暮らしたいからだと思います。美しい景色を大切にしたいと思ふ心。通じ合うことを尊重する心。うまい空気を吸いたいと思ふ心。どんな心でも今よりも、もつと気分のいい状態になりたい気持ちこそ、ユートピアを実現する原動力になると思ふます。

こんなユートピアのハナシをしますと、何か宗教的でクサイと思われるかもしれませんが、しかし、こんな解釈があったとしても、きつとそれはそれでOKしたいのです。モノゴトを御破算にすることよりも、何らかの組み合わせでプラスに作用する方法を見つけ出した方が、何かと前へ進むような気がするからです。

グアアアとアクセルを気持ちよく開けるとそれは同じようなもの、難しく考えても簡単に考えても、要はその一瞬を大切に、そしてその一瞬をうまくホールドできるかが問題で、そのためにはテクニクが必要となります。トレーニングを重ねてテクニクを身につけ、いつも思った時にユートピアに行ける、それが理想なのです。(小野寺秀悟)





●RZのことがすべてわかる本

RZ神話なるものが80年に流行しはじめてから、はや5年目。RZはさらにRの記号を符して完成度を高め、2サイクルの何たるかを知る人に強烈なアピールをしてきたバイクといえるでしょう。

数多くの話題を提供してきたRZですが、それをスバリ丸ごと一冊にまとめた本が出版されました。「ビュアライダーに捧げる ヤマハRZ250・350R」(山海堂、スタジオO.T.A.C編 Y980)です。

RZ讃歌から始まって、開発ストーリー、デザインストーリー、歴史、メカニズム、メンテナンス、RZライディングテクニック、レース用改造パーツリストなど、RZに関するすべての情報を美しく、細かに解説したものです。

構成から、解説、そして、写真やレイアウトも良くて非常に読みやすいので、ついその気になって一気に読み通してしまいたいような内容に巻いています。

特に巻頭のカラーページは美しい写真と雰囲気満タンで、まさしくRZに乗って感じるダイナミックでロマンチックな世界を見事に演出しています。

●チビッ子から高校生のためのモトクロス本

モトクロスのテクニックを書いた本は今ま

でたくさん出ていますが、どれも内容的に個性的でないものが多かったようです。このたび出版された「モトクロスやるっきゃない」(山海堂 石井正美著 ¥980)は、中学生や高校生を対象とした入門書で、将来のモトクロス界で活躍する若年層に的を絞ったものです。

著書の石井正美は、70年代のヤマハワークスライダーだった人で、現在は6年間のプラシクをもっともせず32歳で全日本選手権で頭張っている現役ライダーでもあります。ベテランライダーであるだけに、ただ走れるだけでなく、後輩の指導も合理的で適切なためにこれから上達しようとする人の情熱に十分応えられるポテンシャルを持っている人です。



そんな彼が書いた本です。モトクロスのテクニックだけでなく、考え方やトレーニング方法、ライバルや仲間とのコミュニケーションまで幅広くガイダンスしています。

もちろん、中・高校生に限らず、これからモトクロスを始めようとする人にも十分に役立つ一冊だといえるでしょう。

CAR

●ニュー4WD自動車の流れ

やはり、自動車文化の移り変わりは、オートバイの流行を見るのと同じくらい面白いものです。現代の、そしてこれからの主流は乗用車タイプに限らず4WD(4輪駆動車)となりそうです。何せ4WDは、4輪すべてを駆動するために路面に対する駆動力が均一化されて、重量のあるクルマを常に安定して動かすことができるからです。

そういった4WDの良さは戦前から認められてはいましたが、つい最近までは4WDと



いけば質実剛健そのものが走っている雰囲気でした。ただひたすら悪路や急坂を得意でありさえすれば良かった時代も確かにありましたが、現代では、それにプラスして軽快な操縦性と快適な居住性を持っていなければ市場のニーズに対応できません。

今、求められている4WDは、その意味でさらに乗用車的になり、特別な意識を持たないでも乗りまわせるものとなっています。

乗用車タイプの4WDもこれからはフルタイム(2WDとの切り換えなし)型が登場してきそうです。ワンボックスタイプの4WD、乗用車タイプの4WD、ボンネットトラック型の4WD、ピックアップ型の4WDとますますバリエーションが増え、近い将来4WD車が市場に大きなシェア率をもつてくることでしょう。

さながらオートバイのように自在にどこへでも入り込み、トレール車のように野を駆け回ることが普通のクルマにもできるようになるわけです。クルマもオートバイもより自由に走りたい、という願望がそこにはあるみたいですね。

CAKE

●女の子が大好きなお菓子ベスト5

はつきり申しますと、女の子が大好きなお菓子が何かってことは、知らなくてもいいのです。でも、ちょっと待って下さい。万が一女の子とデート(結果としてデートだったらツリーングでもお買い物でもいいではありませんか)する場合は、やはり好みのお菓子が何なのかを知っておいてもいいでしょう。

トケーキ、なのだそう。もともとは、チョコレートといえはメキシコ原住民の飲み物だったのですが、まあ、その話はおいて、コゲ茶色のあのチョコレートがスポンジケーキやパイにかかっていて、これがやっぱ甘いものNo.1なのです。

ベスト②。やはり日本人ですね。No.2は甘党の店にて人気のあるクリームゼンざいやおしるこ。塩コブなどをちよびり後で口に入れるとジーンツとくるあの感覚が女の子に受けるのでしょうか。

ベスト③。アイスクリームとパフェがその次に入っています。やはり、ファッション街でアイスクリームをペロペロとためて歩くのがいいのでしょうか。それともコギレイなお店でパフェを御馳走になるのが好きなのでしょうか。いずれにしても想い浮かべるだけでもおいしそうですね。

ベスト④。タルト。タルトは本来は切り分けて食べる大きな菓子という意味があります。上に砂糖煮の果物やクリーム(この上モノを総称してフィリングといいます)ののつていますが、生地(パート)には2種類あり、ビスケットとクッキーの混血みたいな固い練り込み生地と、パイ生地のふたつです。パイの方がツリー好みとか。よく覚えておいてください。

ベスト⑤。毎ケーキとクレープが第5位。あのまっ赤なビタミンCがヘルシーで嬉しいのでしょうか。フランスの新勢力であるクレープも男も女も食べるには、まずまずのものといえるでしょう。それにクレープは誰にでも作れるという意味でも人気があるのです。

いつ何とき、女の子とデートになるかわかりません。お菓子を目の前にした女の子は、あくまでも包容力で接してあげたいものです。



THE WAY
TO
NEW YAMAHA

バイクのある暮らしを提唱するヤマハ



スクーター・バイクの普及に大役を果たしたテレビコマーシャル

今日、二輪車の保有台数は1千7百万台を越え、3世帯に1台の割合で二輪車が暮らしの中にとけ込んでいます。

世界の人々の暮らしに豊かさや喜びを贈ることを念願しつつ企業活動を進めてきたヤマハにとって、バイクのある暮らしの提唱もその一環として、長年にわたり展開してきたテーマのひとつです。

「スクーターに乗る女性たち」このごく日常的な風景も、かつては想像もできなかったものです。

「バイクは男性の乗り物である」という概念が、まだ普遍的であった60年代から女性市場に対するヤマハのアタックは始まっていた。

その試みとして、当時の機種の中で、比較的女性にも親しまれやすかったヤマハメイトをピンク色に塗装した「ピンクメイト」を昭和43年に発表したりもしました。

昭和44年、「ヤマハ原付免許教室」を開設。

この頃も受講者の約70%が女性で、免許に縁がなかった女性にも免許取得に踏み切らせるきっかけとなったことを物語っています。

昭和44年の東京モーターショーにはベベル付きのスリムな50ccバイク「ヤマハミニ」を参考出品し、女性ユーザー開拓の尖兵になるものと注目を浴びましたが、当時の市場の動向などを考慮して、発売を見送りました。

昭和47年の東京モーターショーで「レジャーバイク」の名で出品した試作車は、のちのヤマハチャビィ、ヤマハリリックの前身ともいべきモデルです。

翌昭和48年に「ヤマハチャビィ」を新発売。ヤマハチャビィは当初から女性のバイクを狙いとして開発したもので、とくにヤングレディのタウン・ウォーク、あるいは買物、近距離の用足しに使われるバイクを目指したものです。計画通り、ヤマハチャビィのユーザーの半数以上が女性によって占められました。まだまだバイクと女性一般の間に横たわる断層を埋めるまでには至りませんでした。

昭和52年、バイクのある暮らしの提唱を、実らせる大きな力となった「ヤマハパッソル」を新発売。このモデルの開発の狙いの最大の特長は、女性のためのスクーター」という点にあったばかりでなく、誰にでも乗れるやさしいバイク、「一家に一台、便利な足」というコンセプトに基づいて開発されたことです。

このパッソルがスクーター新時代の先駆けであり、スクーターの要素を男性の間にも拡大するきっかけをつくったことは周知のとおりです。

一方、スポーツバイクについても、市民権の獲得、つまり社会の理解の中で、ユーザーが伸び伸びとライディングを楽しめる環境づくりを目指してきました。

ヤング層のみならずアダルト層も引きつける新鮮な商品の数々。とくにヤマハスベシヤルシリーズやSRシリーズは、バイクを単にスピードと性能を求めるマシンとは考えない、これらの人々の心をとらえました。

ヤマハ安全運転推進本部を中心に、販売店の皆様と共に展開してきた安全活動もバイクに関する社会の認識を好転させる力となりました。

「スクーター・バイクのある暮らしの提唱」のために使われたスローガンの数々。限りなくスポーツレジャーの世界を広げるヤマハ、天気の良い日はバイクに乗ろう、バイクでニューライフ、グッドバイク・フォーグッドライフ、ビュティフル・モーターサイクルワールド・ヤマハ、街は小さな小さなクルマがいい、人間にいちばん近い乗り物なんだ、6輪車時代——etc.

「人々の日常生活へのバイクの浸透」「スポーツバイクの市民権の獲得」これらの重要なテーマが実を結びつつある現状こそ、二輪車の安定成長を願うための強力な地盤といえるでしょう。

●ヤマハニュースは、販売店みなさまの情報誌です。みなさまの積極的な読上参加をお待ちしております。この販売に関する話題、ご質問、ご相談なんでも結構です。お気軽にお寄せください。

〒4338 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社 広報室宣伝課

「ヤマハニュース」保

05383(2) 1111(内線2356)

「RZV500R」発売にあわせて『技術講習会』を開催



受講するみなさんの表情も真険そのもの



初めて前にしたV4エンジンに多少戸惑いも

〔ヤマハ東京機〕RZV500Rの発売を目前にした5月16、18日と21、25日の9日間に渡って、首都圏内のYSP210店さんを対象とした「RZV500R技術講習会」がヤマハ東京機城南サービスセンター内の研修センターで開催されました。

この講習会では、RZV500Rの円滑な市場導入を目的に「納車整備とお客さまの指導教育が十分できること」をテーマとした実習を含む豊富な内容のカリキュラムが進行されました。

参加したYSP店のみなさんも、「これで納車点検もパーフェクト、自信を持って販売とユーザー指導にあたれます」と口ぐちに答えています。

また同研修センターでは、今後メカニカルサービスマン専門の従業員さんを対象とした技術講習会も計画しています。

都心のデパート屋上にピット風景を再現 ハンズ・モーターズスポーツフェア



最近のロードレース人気は大変なもので、ゴルデンウィーク最初の連休にあたる4月29・30日の両日、東京・渋谷の東急ハンズ屋上で開かれた「ハンズモーターズスポーツフェア」の会場には、浅見レーシングによるヤマハレーシングチームのピット風景が再現され、モーターズスポーツファンの注目を集めました。レース観戦に行ってもなかなか目にするのでできないピット風景の再現とあって、TZ250を手際よくバラすピットマンの動きにファンの視線が集中。さらにこの日はゲストライダーとしてヤマハ

ワークスの平忠彦選手も登場し走りのノウハウや安全運転の心掛けなどのセミナーも開催され、集まったファンはサーキットの雰囲気満喫していました。

ゼロハン・ツーリングで お客さまサービス

〔ヤマハ中国機東広島営業所〕広島県三原市で商売する岡本自転車店(岡本保社長)さんでは、さる4月15日、恒例の「春一番ゼロハンツーリング」を実施しました。

一行28名のゼロハン部隊は、昨年12月に完成し東洋一の長さを誇る因島大橋を経由した日帰りツーリングを満喫。新緑にかかる潮騒の中で、楽しい一日をすごしました。

岡本自転車店さんでは、この夏もお客さまとの「キャンプ」を計画中。楽しさあふれる普及活動に意欲的に取り組まれています。



災害時の郵便業務援助で ヤマハに郵政大臣、 郵政局長から感謝状

昨年の夏、島根県を襲った集中豪雨と岐阜県を直撃した台風による災害の際に、ヤマハ西中国機とヤマハ名古屋機が迅速に対応。郵便物集配の足となる機動車

の整備にあたり業務遂行を援助したことで、去る4月20日の通信記念日にこのふたつのヤマハ販売会社に対し、郵政大臣および東海郵政局長から感謝状が贈られました。



内外で快進撃をつづけるYZR500

世界選手権、全日本選手権と内外のロードレースシリーズでヤマハワークスYZR500が大活躍。中盤戦に突入するシリーズ戦をリードして話題を呼んでいる。

エディ・ローソンの2勝目 ランキングも大きくリード!

84世界選手権ロードレースシリーズでは、5月6日のスペインGP、ハラマサーキットで第3戦を迎えた。第1戦・南アGP優勝、第2戦・イ

タリアGP2位と快調なスタートを切ったエディ・ローソンとYZR500は、この第3戦でも快走し、両のプラクティスで最高ラップをマ



YZR500とのマッチングもぴったり。ランキングリーダーらしいみことな走りを見せるローソン

平忠彦いよいよV2軌動ばく進 河崎との1・2勝利も3大会連続!

一方、このところ人気急上昇の全日本選手権ロードレースシリーズも、5月13日の筑波大会で5戦を終えた。注目の国際A級500ccクラス、前戦の4月22日、鈴鹿大会でみことなワン・ツー勝利をおさめた、チャンピオン平忠彦と今年38歳の大ベテラン河崎裕之のYZRコンビが依然快調で、数かずの「ニュース」をつ



デイトナから帰って以来、国内無敵の4連勝をつづける①平とYZR500

クした。そして、3万5千人の観衆が見まもる中で行なわれた決勝でも、一周目からリードを奪い、同じアメリカ

のR・マモラの必死の追撃を簡単にふり切って、今季2勝目をあげた。「ローソンには完全にやられた。YZR500は、ハラマのトラックにはベストマッチしてたからね」とはレース後のマモラの言葉。この結果、ランキング・ポイントでもローソンは42点で断然首位。2位のロッジとの差を10点とひろげている。

くり出している。まず、5月12日に行なわれたプラクティスで平忠彦が、59秒58と、ついに1分を切る筑波サーキットのコースレコードを樹立。決勝でも、安定した走りで、無敵の4連勝をマーク。2位に河崎、3位に上野真一が入りヤマハトリオが、表彰台を独占してしまっただが、平&河



2位の河崎(右)、3位の上野(左)のチームメイトの手荒い祝福を受ける平

崎のワンツー・フィニッシュは、4月8日のSUGO以来、3戦連続というみことなもので、ファンにも、もうすっかりおなじみとなっている。そして、ランキングテーブルでも、平は先行する木下恵司と80ポイントの同点首位で、完全にV2軌道に乗っている。

6月のレーシング カレンダー

- 6月3日 ●全日本トライアル⑤ 関東・鶏頂山
- 500ccモトクロス⑥ 西ドイツGP
- 250ccモトクロス⑥ イタリアGP
- 125ccモトクロス⑥ スイスGP
- 6月10日 ●全日本ロードレース⑦ スズカ200キロ
- 全日本モトクロス⑤ SUGO
- ロードレース⑥ フランスGP
- 6月17日 ●ロードレース⑦ ユーゴGP
- 500ccモトクロス⑦ オランダGP
- 125ccモトクロス⑦ サンマリノGP
- 6月24日 ●全日本ロードレース⑧ 筑波
- 全日本トライアル⑥ 北陸・牛岳
- 500ccモトクロス⑧ アメリカGP
- 250ccモトクロス⑦ 西ドイツGP
- 6月30日 ●ロードレース⑧ オランダGP

詳しくは担当のヤマハマンにお問合せください

6・7月の全国統一キャンペーンでスクーター需要の一大喚起を!

好評のジョグに加えて、チャンプ、キュートのニューモデルも登場し、ますます充実したヤマハのスクーター・ラインアップですが、この6月からはこれらのスクーターを中心とした全国統一キャンペーンが展開されます。

キャンペーンの狙いは、ズバリ、来店促進。ユーザープレミアムをはじめ、来店ノベルティや新車予約者プレゼント、代替促進ツールなど、販売店さまにご活用いただきやすいツールを各種ご用意しました。どうぞ皆さまのお店でも積極的なスクーターの拡販をおすめください。

- ① ユーザープレミアム
- ② 来店ノベルティ
- ③ 新規予約者プレゼント
- ④ 代替促進アプローチ「愛車売りましたしコーナー」

地域によっては当キャンペーンを実施しない地域もあります。詳しくは担当セールスマンまでお問合せください。



(チャンプ)ソモギディスクトレイ

(キュート)タラ・フィッツディスクトレイ

オリジナルパッチ

店頭ノボリ

花輪型ブライスカード

鍵型タッグ



本日開設

MOTOR SPORT



'84サマーフェスティバル'が全国10会場で開催されます!

毎年恒例の真夏の一大バイクイベント、サマーフェスティバルの今年度の開催要項がつきのとおり決定しました。

今年も、昨年同様に全国8ブロックでイベントを企画。北海道から九州までの10会場、それぞれ趣向をこらした催しが行なわれます。皆さまのお店でもスポーツバイクのお客さまはもとより、スクーターのお客さま、業務需要のお客さまと幅広く呼びかけ、バイクを通じたお客さま同士の交流をお図りください。

- **北海道**
- 84サマーフェスティバル・イン・北海道
- 期日/8月25日(土)〜26日(日)
- 会場/ルスツ高原
- 内容/オールナイト6時間スクーター耐久レース(24時〜6時)、ツーリング・キャンピング、サイン会、展示会、カートGP。
- **東北①**
- 84サマーフェスティバル・イン・陸中モトリ
- 期日/7月21日(土)〜22日(日)
- 会場/岩手県田野畑村
- 内容/ツーリング、キャンピング、抽選会、各種ゲーム、他。
- **東北②**
- 84サマーフェスティバル・イン・SUGO
- 期日/8月4日(土)〜5日(日)

- **関東**
- 84サマーフェスティバル・イン・三井
- 期日/8月11日(土)〜12日(日)
- 会場/富士五湖(西湖)
- 内容/ツーリング、キャンピング、サイン会、クラブ交歓会、他。
- **中部①**
- 84サマーフェスティバル・イン・三重
- 期日/8月19日(日)
- 会場/三重県・SLランド員弁
- 内容/ツーリング、ミニバイクレース、オフロードライディングスクール、トライアル、サイン会。
- **中部②**
- 84YAMAHAサマージャンボリー
- 期日/8月5日(日)
- 会場/福井市・北陸スポーツランド、

- **関西**
- 84サマーフェスティバル・イン・関西
- 期日/8月5日(日)
- 会場/兵庫県・SLランド三田(予定)
- 内容/オフロードコンテスト、オフロードライディングスクール、展示会、サイン会、ゲーム大会、バーベキュー大会、他。
- **中国**
- 84サマーフェスティバル・イン・大山
- 期日/8月4日(土)〜5日(日)
- 会場/島根県・大山
- 内容/ツーリング、キャンピング、ゲーム大会、抽選会、サイン会、他。
- **四国**
- 84サマーフェスティバル・イン・四国
- 期日/8月4日(土)〜5日(日)
- 会場/久万高原ふるさと旅行村
- 内容/ツーリング、キャンピング・ゲーム大会、抽選会、サイン会、クラブ交歓会、

POWER PRODUCT

ヤマハ発電機のニューモデル「Aシリーズ」3機種「新発売」

2500ワットから4300ワットまでワイドに揃って好評のヤマハ発電機。6月1日からは「EF1200A」、「EF2000A」、「EF2600A」のAシリーズ3機種が、新たに発売されます。

抜群的な耐久性と静粛性を誇るヤマハ4サイクルエンジンを採用したこの3機種は、実用性重視の交流専用モデル。徹底した防音、防振対策をはじめ、見やすく扱いやすいコントロールパネルやトラブルを未然に防ぐオイル

ウォーニング装置などを採用。よりユーザーニーズを満たした仕様が施されています。

信頼のヤマハ発電機シリーズに追加された「EF1200A」、「EF2000A」、「EF2600A」の3モデル。皆さまのお店でもどうぞ積極的にご取扱ください。

詳しくは、最寄りのヤマハ特約店またはヤマハ販売会社の特機担当セールスマンまでお問合せください。



EF1200A 標準小売価格 ¥109,000



EF2000A 標準小売価格 ¥140,000



EF2600A 標準小売価格 ¥192,000

PARTS & ACCESSORIES

夏にさわやかノイラストが楽しい「84ヤマハTシャツ」をどうぞ!

日増しに暑さを増している今日この頃。そう、今年もまた「Tシャツ」のシーズンがやってきました。そこで、「84サマー」のヤマハTシャツをご紹介します。

84ヤマハTシャツの特長は、スッキリさわやかなイラストが採用されていることです。ロードレースのキング・ケニーや平忠彦をはじめ、モトクロスのリック・ジョyson、トリアルに加藤文博をモデルにデザインした他、RZV500RとYZR500のイラスト

ト等も追加。全10パリエーションが用意されています。

サイズは、フリーサイズ。素材は、オール綿。価格は、白地が2,300円、グレー地が2,500円。若いお客さまに好評のTシャツ、ぜひ皆さまのお店にもお揃えください。

ご注文、お問合せは、最寄りのヤマハ特約店またはヤマハ販売会社の部品担当セールスマンまでどうぞ。



SERVICE

「RZV500Rメカニカルビデオ」が完成しました。

いま注目的、RZV500Rの商品説明とメンテナンスを解説したビデオが完成しました。

お店のサービス業務の参考にご活用いただくばかりでなく、マニアックなお客さまへのPRビデオとしてもお使いいただけます。

＜RZV500Rメカニカル・ビデオ＞

●内容／①商品説明（セールスポイント紹介）

②修理方法（エンジン分解、エンジン調整、キャブ・セッティング等）

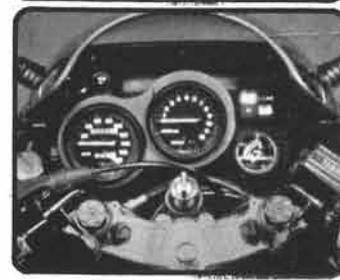
●型式／ベータおよびVHS

●幹価価格／6,000円

お求めは、最寄りのヤマハ特約店またはヤマハ販売会社の営業技術課までどうぞ。なお、ご注文の際は、ベータ、VHSの別を明記の上、お申込みください。

★ごちそうありがとうございました

本誌先月号でご紹介いたしました「ヤマハ整備用機器&工具」特別セールは、5月末日をもって終了させていただきました。ご参加いただいた販売店さまには、紙面を備りてお礼を申し上げます。



宝さがし、他。

（九州）

84サマーフェスティバル・イン・九州

●期日／8月4日（土）～5日（日）

●会場／大分県飯田高原・長者原キャンプ場

●内容／ツーリング、サマーキャンプ、フォ

ロックコンサート、トリアル教室、サイン会、他。

なお、個々のイベントの詳細は、それぞれのブロックのモータースポーツ普及担当員までお問合せください。

6月のセールス・ワンポイント

産業能率短期大学助教授・吉川雅之

ボーナスや夏休みを控えて、いよいよ夏商戦の開幕。そこで今月は、古い顧客の再開発にスポットを当ててみました。

“顧客名簿は宝の山”

初期スクーターユーザーへの再アプローチ

かつて、ある家電メーカーは、その製品に故障が多くて、その度に販売店は修理に行く、おかげでかえて顧客との良い人間関係ができ、シェアを伸ばすことができたという話がありました。ケガの功名というべきでしょうか。

現在、自動車のディーラーが最も力を入れているのは、すでに自社の製品（自動車）を買っていただいたお客さまに、どのようにしてもう一度買いかえてもらうか、ということです。自動車も、もう新規需要の急激な増加は望めません。そこで、現代の顧客とどう接触をつづけるかがポイントになるのです。

このふたつの話を総合してみると、すでに売ってしまった、購入していただいた顧客と

の関係を続けることの重要性が出てきます。

スクーターもすでに安定市場。これまでの顧客をどう再開発するかが大きなポイントになっています。とくに、初期のスクーター購入者は、その便利さも十分に知っており、古くなったスクーターにそのまま惰性で乗りつづけている、というような人も多いものです。いつかチャンスがあれば乗り替えたいというお客さまも多いはず。そこで、顧客名簿は宝の山、という言葉が、決して大げさではなくいわれるのです。

ずっと、ご無沙汰のお客さまに、またアプローチするのはなんとなく後ろめたい気もあるかも知れません。だからこそ、今しなければ、そのままになってしまいのです。



再アプローチの手はじめに、効果的な電話作戦

古いお客さまへの再アプローチの第一は、電話作戦です。これまでのお客さまに、つきつきと電話をしてみましょう。

電話作戦にはいくつかのメリットがあります。第一はコストが安いこと。通話料など知れたものです。第二は、手間がかかりません。

ダイヤルを回すだけ、ボタンを押すだけで良いのです。第三は、人間的な触れあいがあることです。

直接話ができ、お客さまの反応や、考え方もよくわかり、いわばカンタンな市場調査にもなります。電話は時間もかからず、夜お店

が終ってからでも20名ぐらいは可能でしょう。電話をかける時の注意をいくつかあげておきましょう。まずは、話す内容や質問項目を決めてメモにしておきます。ご無沙汰の挨拶から始まり、いまでもスクーターに乗っているかどうか、スクーターの調子はどうか、ど

第2ステップは、DM作戦で、眠れる顧客を目覚めさせる

第2の作戦はDM。DMは電話にくらべればコストも高く、手間もかかります。また出してみただけ、あまり効果がなかった、という話もよく耳にします。よく調べてみると、このようなDMは、決まりきった印刷物を一度出しただけ、という例が多いようです。DMで効果をあげるには、いくつかの方法があります。

その第1は、個人的な親しみを感じさせることです。既存の印刷物に、ちょっとひと言書き加えるだけでも、グンと有効です。

前項の電話作戦と連動させ、先日、電話で失礼しました……とつけ加えるだけでも親しみは増すものです。

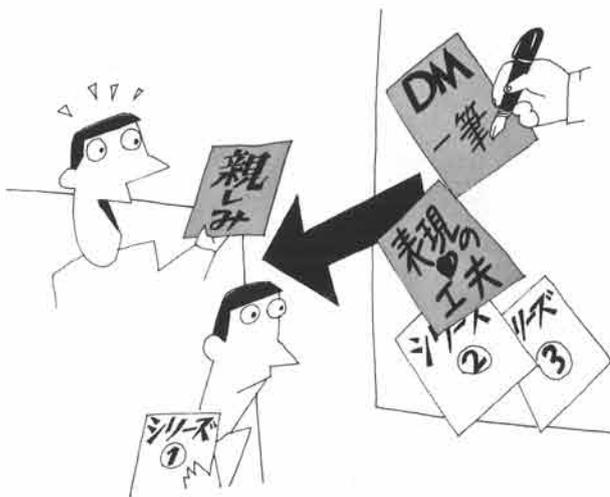
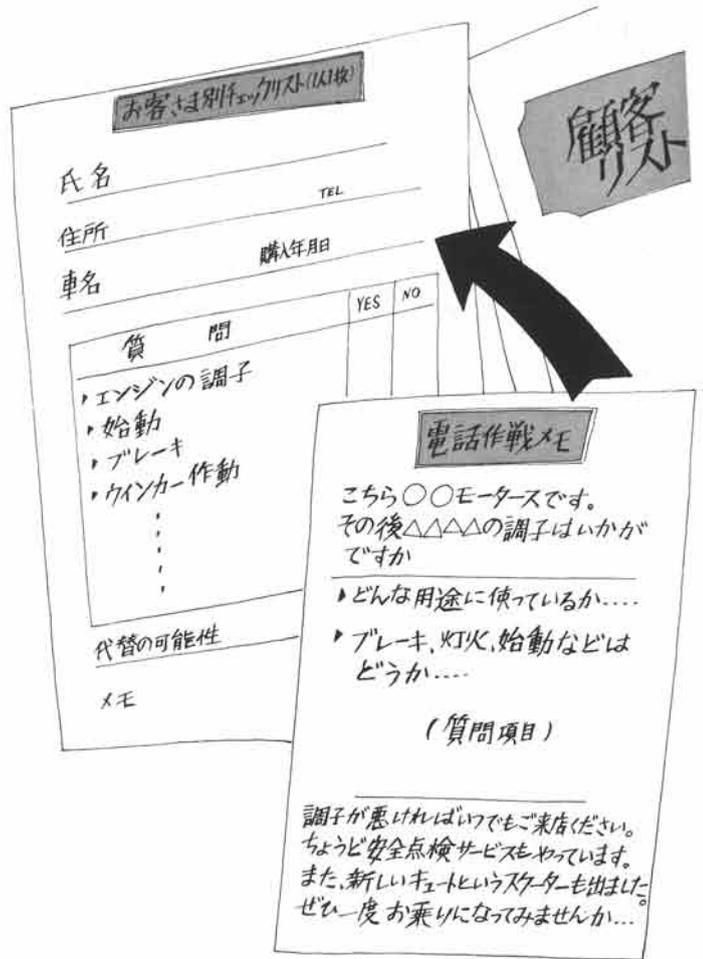
第2は、表現の工夫です。押し着せの印刷物に加えて、手書きコピーを加えるなど独自性を打出す工夫をしましょう。しかたがないから出しているのではなく、知らせたいこと

があるので出したのだ、という強い気持ちで表現したいものです。

1回きりで終らせず、シリーズで出した方が効果的なことはいくらでもありません。

たとえば、1回目は挨拶と予告だけにし、第2回目に商品の説明をし、カタログも同封する。第3回目に、デモカー試乗のおすすめで下取りセール、特別セールの告知などで来店を促す、などの段階的な方法をとります。1回だけでなく、1週間くらいの間隔で、何回も出す方が効果がある、それがDMです。

何か簡単なことをちょっとやっただけで、すぐに効果が表われる、そんな方法はどんな業界にもなくなっています。やはりキメ細かく、工夫をこらして顧客にアプローチしていくことが、眠っている顧客を目覚めさせることであり、お店の親切でもあるのです。



んを用途に使っているか、ブレーキ、ウィンカー、始動はどうかなども伺います。販売店が自分の売った商品について、チェックするのは当然のことでしょう。

これらは、会話の内容とは別に、お客さま1人1人のチェックリストを作っておき、電話が終了した時点で次の車種の売り込みの可能性を判断し、まとめておきます。これらは、販売店としての親切で行なうものですが、もちろん売り込みのキッカケに、電話の最後には、来店のおすすめで、新発売されたスクーターの情報なども、忘れずにつけ加えておきます。ただ漫然と電話するだけではなく、なにを話し、何を聞きだせばよいかをあらかじめ決めて電話をすること。これが効果を上げる電話作戦のポイントです。

電話で売り込みが成功しなくても、少なくとも「親切なバイク屋さん」の印象は与えられますし、そこで得た情報をもとに、次のDM作戦も効果的に遂行できるのです。

●バイク、スクーターを大量に扱う事業所、官公庁を訪ねて

三ナト神戸を

「信頼」を乗せて走るヤマハビジネス

●住友生命保険相互会社・神戸支社(兵庫県神戸市)

緑頭える街路樹と異人館、エキゾチックな舞
舞気のおふれる神戸の街をさつそうと走りまわ
るYB50。これは、大阪・北区に本社を置き、
創業59年の実績と国内トップクラスの契約高で
信頼を集める住友生命・神戸支社さんの「丈夫
で安心」な業務の足です。まず最初は、住友生
命・神戸支社さんをお訪ねしました。

円滑な業務に欠かせぬバイク

いま、この住友生命・神戸支社さんでは、Y
B50とヤマハメイトが活躍しています。その働
きぶりを車輛管理を担当されている総務係の高
橋係長さんにお話を伺いました。

「バイクの使用はふた通りあるんです。ひと
つはご家庭を直接訪問する保険料の集金業務、
もうひとつは市内にあるうちの各支社に書類や
パンフレット、プレミアムツールなどを運ぶ現
務員による配達業務です。

どちらも小回りがきくことが第1。その点、
迅速で駐車場の心配もいらない二輪車は最適。
うちの業務になくてはならない足ですね」

YB50とメイトは故障知らず

では、実際にYB50やメイトに乗って業務に
当たる方がたの声はいかがでしょう? 集金奉
仕員の森久保さんと現務員の藤川さんのお2人
にお話を伺いました。

藤川 神戸は前が港、後が山という地形なので、
平地は東西に広がり坂が多いんです。そんなと
ころでもヤマハ車は力づくよく走ってくれます。
私の場合は1日平均20〜30km、多い時で70kmぐ
らい走りますが、まだ一度も故障したことはあ
りません。出掛ける前に注意していることはカ

ソリンとオイルのチェック、特にオイル切れは
エンジンにダメージになってしまうので毎日必ずチエ
ックしています。普段やっているとほはそぐ
らいですが、本当に良く走ってくれます。

森久保 私の乗っているYB50も4年目になり
ますけど、調子は最高ですね。1日平均40kmか
ら60kmくらい走り、月末や月初めなどには60軒
から70軒のご家庭を訪問しますが、ブレーキと
かタイヤなんかの消耗品交換以外はほとんど修
理には出したことがありません。今まで色いろ
なオートバイに乗ってきましたが、乗り心地も
走りも今の一番ですね。私はYB50が好きなの
で、今ので2台目なんですよ。

安全運転は日頃の心掛けから

森久保 普段走っている時に注意していること
は、毎日同じような所を走るので運転が感覚的
にならないように意識しています。タクシーの後
ろを走る時なんかは、急停車が多いので特に注
意しますね。

藤川 私は幹線道路を走る時の大型車の巻き込
みに注意しています。なんか吸い込まれていくよ
うな感じで大型車の横を走ると怖いんですよ
ね。話は変わりますが、先日走っていたら20才前
後の若い男の人が4輪車とちよつとした接触事
故を起して、道路に倒れていたの、行ってバ
イクと本人を起してあげたんです。幸い、事故
はたいしたことはなかったんですが、あんなの
を見るともつと注意して走らなくちゃ、と思
いますね。

森久保 私も走っている時に良くそういう場
面に当たりますね。事故ではないんですが、若い人が
汗だくになってエンジンを始動させようとして

いるんですが、なか
か掛からないので
毒になって見てあ
げると、なんとた
だのカス欠(笑)。
初心者の人には
多いんですよ。

私はいざという時の
ために、プラグと工
具は必ず携帯するよ
うにしています。あ
まりにも多く故障
して困っている人
に会うんで、自分
のためというより
その人たちのため
に持つていこうな
らな(笑)。

○ 住友生命・神戸支社
さんのキャッチフレー
ズともなっている「真
心の奉仕」は、ヤマハ
車を使って日常業務に
励まれている職員さん
たちの胸の中にも、し
っかりと生かされてい
るようです。



「ヤマハ車は最高です!」と話される高橋係長さん(左)、森久保さん(中央)、藤川さん(右)

数かずの安全運転活動で郵便業務を確実遂行!

●上田郵便局(長野県上田市)

真田幸村の城下町・長野県上田市。信州の鎌倉とも呼ばれている歴史の町を、お訪ねしました。豊かな自然に囲まれた、この上田市では、

上田郵便局さんが58台もの郵政機動車を使用。数かずの安全運転活動を実施しながら、郵便業務を遂行されています。



見左の宮配理三前水者管理の倒郵便課、集代課の清水車の上田スタッフ計、長課の管理のから島主事さん、島貯事さんの高野

運転技術は交通機動隊ゆずり

千曲川沿いに開けた上田盆地周辺は山坂が多く、また冬場になると雪こそ少ないものの路面が凍結するなど、二輪車の走行にとっては厳しい条件が揃っています。

このような自然環境の中で安全確実に業務を遂行するために、上田郵便局さんでは二輪車運転のプロともいえる地元交通機動隊の白バイ隊員さんにインストラクターをお願いして、自動車教習所を借り切った高度な安全運転技術講習会を実施されています。

この安全運転技術講習会について、ご自身もヤマハ車に乗られ、毎日の業務に励む貯金課の三ツ井主事さんにお話をうかがいました。

「この講習会は、年に1回の割合で2年ほど前から実施しているものです。機動車の乗務員は全員が受けることになっているので、もちろん私も参加していますが、白バイに乗る方たちはなにしろ運転が上手なので私なんかはついていくのがやっとですね。でも、毎日乗っていても気がつかない悪い部分をヒシヒシと指摘してもらえるので、実走行ではずい分と役に立っています」と業務も運転もベテランの三ツ井主事さんにとっても、その効果は大きいようです。

数かずの施策で事故ゼロを目指す!

運転技術の向上を目的とする、この安全運転技術講習会と平行して、車輛や法令に対する知識や、日頃の安全意識の高揚を目的とする諸施策も、中沢局長さんを含む11名の車輛運営協議会委員と、外務を担当する全職員さんとが丸となった車輛運営協議会の手によってさかんにおこなわれています。

主な活動としては、安全運転の呼びかけや局内情報を盛り込んだ「車輛ニュース」の発行、交通安全標語の募集、ミーティング、若い乗務員さんを対象とした打合せ会の開催、車輛技術講習会、一般法令講習会等。中でも特筆すべきは毎日おこなわれる運行前点検や終業時清掃点検などに加えて毎月5の日に設定された「車輛一斉点検日」です。

車輛故障の早期発見で事故を未然に防止

この「車輛一斉点検日」には、各課の運行管理者立合いのもとに点検表を使った車輛各部のチェックがおこなわれています。この成果について庶務会計課の宮下主事さんは――

「点検結果はすべて点検表に書き込まれ、車庫前に取付けてある点検表入れに投入されます。結果として整備が必要なものについては、自主整備や保守店さんの堤商店(堤清作社長)さんへ即日依頼して、完全整備を図っています。故障の早期発見は、安全運転意識の高揚とともに、事故防止には欠かせない大切なことですから」

一方、これらの車輛の整備にあたる保守担当の堤商店さんの堤保さんは――

「笑顔で出発、無事故で帰局」という標語を胸に安全第一で乗ってもらうことを目指して整備をしています。毎日乗るものだけに、故障をしたらみなさんにご迷惑がかかりますから、パツチリと整備します」と局員さんとのチームワークも抜群。

さらに車輛管理を担当される庶務会計課の清水さんと高野さんは――

「次は上田市内の事故の発生しやすい場所をまとめて地図にし、局員全員に配布しようと思っ

ています」と安全確実に走るための万全のプランを検討中です。



↑職員さんから応募された標語は、局内のいたるところに掲示されている



←「車輛総点検日」に記入された点検表は、この箱の中に入れられ車輛担当者の元へと届く



保守を担当される堤商店・堤保さん



道行くツーリング・ライダーの目をひく鮮やかな印象の外観



工夫をこらしたワンフロア・ショールームで トータルなスポーツバイク専門店 をめざす新店舗

モトスポーツツタカイ／高井功順社長

奈良県桜井市橋本268-13 07444(3)0201

奈良県のほぼ中央・桜井市に、この3月、県下初の本格的スポーツバイク専門店「モトスポーツツタカイ」さんがオープンしました。専門店のイメージを強調したショールームは、早くも新規のお客さまを魅きつけているとか……そんなニューショップのショールームぶりをごらんください。

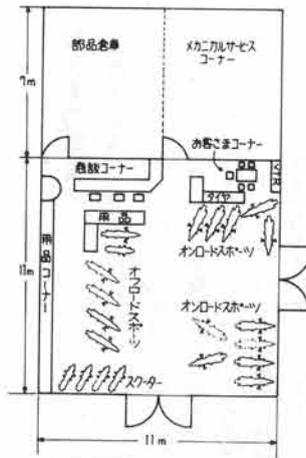
●印象的な外装でライダーの足をとめ 明るいショールームへ自然に誘導

「モトスポーツツタカイ」さんは、同市内2番目の店舗。1キロほど離れた所にスクーターと自転車併売する本店があります。
「スポーツ車の販売比率が高まるにつれて、店に集まるスポーツユーザーの若者が増え、彼らとスクーターユーザーのご婦人が一体となる店内では、商売にもいろいろ無理が出てくるので……」というのが、この新店舗オープン理由。
場所は、市の中心部から外れた、一見好立



高井功順社長と奥さま裕子さん。そして長女の聡子ちゃん

地とは思えぬような所ですが……
「じつは、ここはちょうど奈良と明香村を結ぶツーリングルートの途中なんです。日曜ともなると明香村のワインディングロードに走りに行くライダーがたくさん通る。そんな場所だからこそ出店したんです」とか。
そして高井社長は、立地条件の良さだけに頼らず、それを100%活かした店舗演出を展開しようと考えています。
「まず、だれの目にも、スポーツバイク専門店であることが一目瞭然で印象づけられなければいけませんから、県道から見える2面にヤマハのスパンを上げ、壁面をすべてガラス張りにして、扱い商品がひと目でわかるようにしました。もちろん、走行中のライダーからもね……」
そうして足をひきとめたら、次はショールームへの誘導。ライダーっていうのは意外に無口な人が多い。まして初めての店で、お客さまの方から声をかけるなんてことは、とてもしずらいものですよね……
そこで、オンロードモデル、オフロードモデル、用品、サービスの各コーナーの位置がひと目でわかるサインボードを天井から吊るしてあります。初めてのお客さまも戸惑うことがないので好評のようです」



こんな細かな心づかいを見せるお店の姿勢がお客さまの心をとらえてか、「モトスポーツツタカイ」さんでは、本店からの移行組に加え、20歳前後のヤングを中心とした新規組が、早くも50%にのぼっているほどです。

●専門店のイメージを強調する用品コーナー

敷地面積363㎡、店舗面積198㎡、21㎡の正方形のショールームと77㎡の部品庫・サービスコーナー——というのが、新店舗の構成。
さて、「スポーツバイク専門店」を強調するショールームの演出で、欠かすことのできないのが用品コーナーの充実です。
「身体ひとつで店に来ていただいても、ヘルメット、皮ツナギ、グローブ、ブーツ……とバイク本体ばかりでなく必要な用品のすべてを揃えることができる、これはやはり、専門店ならではの魅力ですからね。」

そこで、ショールームの1面をすべてヘルメット、ブーツ、ウェアなどの用品で埋めつくしてみました。専門店のイメージアップと、とすれば殺風景になりがちなショールームをカラフルに演出できて、本当に一石二鳥です」

また、ショールームの一隅には、VTRをセットしたお客さまコーナーもあり、レースビデオなどが頻りに放送されてお客さまにも好評。

「店のスポーツ活動も、いまは「タカイレィシングファミリィ」でやっているXJ、RZ中心のFIIIレースですが、これからはお客さまの多様化に合わせて、ツーリングクラブもつくりたいと思っています。ソフトウェア面の充実もはかっているかなければ……」
新しい店舗で、意気込みも新たにトータルなスポーツ専門店を目指す「モトスポーツツタカイ」さんです。

「さわやか店舗」——これがモトスポーツツタカイさんの第一印象です。
バイクで風を切って走るあのフィーリングが、そのまま感じられるお店でしょう。この商品性と販売環境の一致は、店づくりの基本の基本といえます。

ここで言う商品性とは、お客さまがバイクを所有し、使用することの価値感。それは、お客さま自身の、生活の質の追求に生じるものです。ちょっと理屈っぽくなりましたが、要するに消費者ニーズ。
そして、これからの店舗は、このお客さまの生活の質の追求に応えうるものでなければなりません。

さて、さわやか店舗のタカイさん、この次は、このさわやかさに何か香りが欲しいですね。それが顧客確保につながるお店の個性。このあたりの環境からいって少しワイルドな香りはいかがでしょうか……?

さわやか店舗——これがモトスポーツツタカイさんの第一印象です。

バイクで風を切って走るあのフィーリングが、そのまま感じられるお店でしょう。この商品性と販売環境の一致は、店づくりの基本の基本といえます。

ここで言う商品性とは、お客さまがバイクを所有し、使用することの価値感。それは、お客さま自身の、生活の質の追求に生じるものです。ちょっと理屈っぽくなりましたが、要するに消費者ニーズ。
そして、これからの店舗は、このお客さまの生活の質の追求に応えうるものでなければなりません。

さて、さわやか店舗のタカイさん、この次は、このさわやかさに何か香りが欲しいですね。それが顧客確保につながるお店の個性。このあたりの環境からいって少しワイルドな香りはいかがでしょうか……?

榊ダイ・バイ・ダイ

ヤマハ店舗相談室

伊藤隆哉



天井から吊るされたサインボードで、コーナーの配置も一目瞭然。道路寄りからヘルメット、ブーツ、ウェア、小物……と壁面には用品がずらりならんで専門店のイメージをアップ



ベニヤボードのマネキンも楽しい用品コーナー



こちらはシンプルな商談コーナー



窓ごしにサービスコーナーも見えるお客さまコーナー

ショールーム入口左手のホットコーナーにはスポーツバイクの最新モデルが勢ぞろい



雨の降る町を、傘を片手にスーツ姿で軽快に踊り回る——といえ、そう、「雨に唄えば」のワン・シーンですね。日頃はイヤと感じる雨ですが、時には楽しい気分で遊んじゃいたい気持ちになることって、映画に限らず、そしてまた、子供に限らず、結構あるものなのかもしれません。

バイクに乗る時だって、そう。突然夕立ちに見舞われた時なんかは別ですが、いざキチンと雨具を身につけて乗ってみると、意外や意外、雨中の走りも気分爽快で楽しめちゃったり……。そこで今月は、新発売の「キューブ」を中心に、梅雨を迎えるこれからの季節に欠かせないオプション&アクセサリをご紹介します。



**雨の中をオシャレに走りたい
女性のためのレインウェア**

防水効果にすぐれ、しかもムレにくい快適素材のエントラント2000とナイロン100%の組み合わせ。カラーはレッドとブルーの2種が用意されたレインコートです。

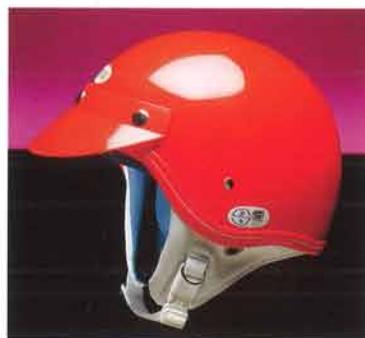
●SCLレインコート・YS-703F/¥18,000



**それこそ雨が降っても
大切なものは濡らしません**

デザイン、品質ともにハイグレードなリヤボックス。カラーも本体とセット。大切なものも気軽に運べます。

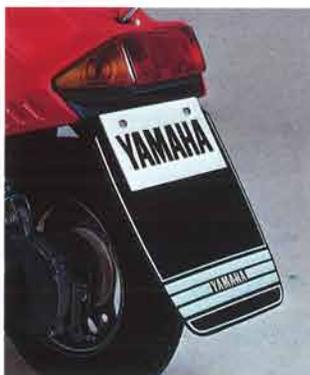
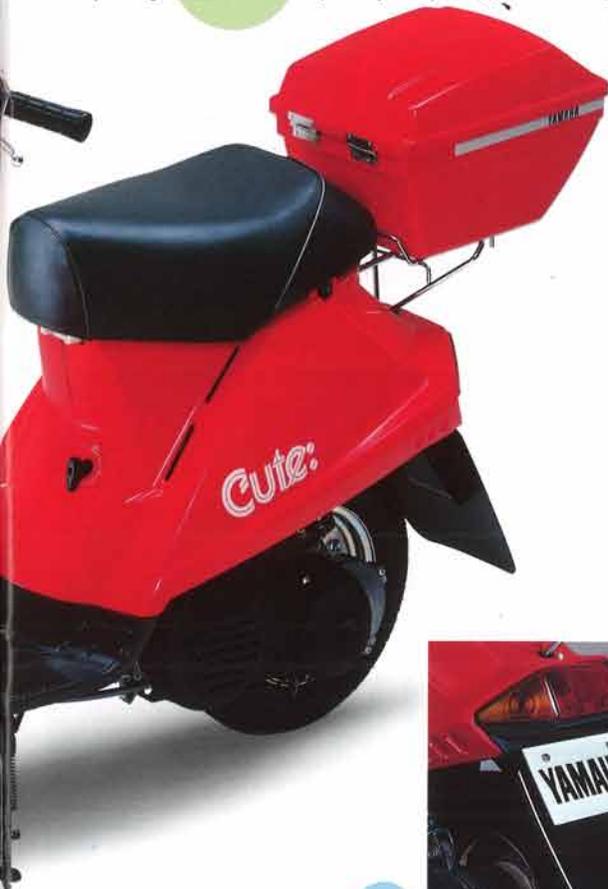
●リヤボックス/¥8,900



**髪形を崩したくない!
これ、女性心理の代表選手です**

軽くて視界良好のソフトタイプ・ヘルメット。風が心地よいジェット型で、ワンタッチ式アゴ紐つきの女性向きです。JIS規格B種、FRP製。カラーはホワイト、レッド、シルバーの3種。サイズはMとLがあります。

●ヤマハヘルメット・LC-IS/¥8,500



**オシャレな女性なら
後ろ姿も
気にしたいもの**

雨の日や濡れた路面で、ボディや後続車への泥水などのハネあげをシャットアウト。オシャレなお客さまならでは、心遣いです。

●リヤマットガード/¥700

**スクーターもファッションブルに
乗り降りしたい**

ちょっとした時間の駐車に便利なサイドスタンド。乗り降りの激しいお客さまには、どうしても欠かせません。

●サイドスタンド/¥1,500



※ここに紹介した価格は、すべて標準小売価格です。なお、この価格には取付費用は含まれません。

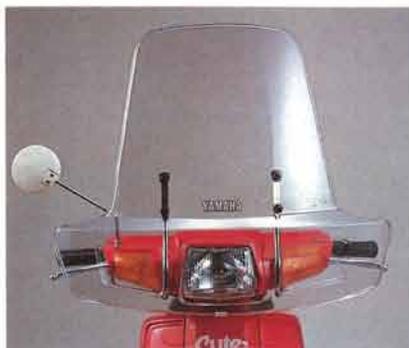
JUST RIDE IN THE RAIN



もちろん、女性にとってお顔は一番大切なところ

雨が降っていたり、風が吹いていても、大切なお顔は大丈夫。キュートをさらにドレスアップするウィンドシールドです。

●ウィンドシールド/¥6,000



ちょっぴりスポーティな女性にはパーカーとスカートの組み合わせを

安全色でもある黄色が鮮やかなレインパーカーとスカートの組み合わせ。素材は、ナイロン100%にハイバロンを加工。若い女性やスポーティな女性にピッタリです。

●レインパーカー&スカート・YS-704F/¥9,500



ちょっとしたお出かけにも女性は持ち物を必要とします

ショッピングに、スポーツに、小粋なスポーティバスケット。ポシェットやクラッチバックもラクに入れます。

●フロントスポーツバスケット/¥1,900



きれいな愛車に乗るためにはいつもきれいにしておかなければ

ホコリや雨の汚れをシャットアウトするためにバイクカバーは必需品。キュートを全身すっばり包んでくれます。つり下げフック付。

●バイクカバー(ソフトバイク用)/¥4,500

きれいで優しい女性の手は柔らかな皮のグローブで守りたい

ジャストフィットの女性用グローブ。全9種のカラーバリエーションで、ウェアとのコーディネートもOKです。

●レディスグローブ/¥5,000



THE LATEST AD

ハイテクロードバイクの進化の歴史は、常に最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。

最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。

最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。

最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。

最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。

最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。

最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。

最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。最新のテクノロジーを駆使して進んでいく。

いまマキシマシーンへ PURE SPORTS FZ400R



HAVE A NICE RIDE! ナイライディングをよろしく。
YAMAHA

55mph Vol.4
イタリア特選をはじめ、充実の100ページ、1部500円

- 5月25日からいよいよ新発売のFZ400R。2輪専門誌を通じての新発売広告は、すでに5月から開始されています。
- また広告展開と時を同じくして、各専門誌上ではFZ400Rの紹介記事や試乗レポートなどがにぎやかにとりあげられ「ストリートレーサーの大本命」などという高い評価が集まっています。

■ 全日本選手権ロードレースシリーズのフォーミュラIIIクラスにおける江崎正選手とFZ400Rの活躍も加わって、新発売時のFZ400Rの話題は最高潮。このもりあがりを店頭に再現して、どうぞ積極的な販売活動をご展開ください。